

日本病理学会口腔病理専門医研修要綱

平成 28 年 7 月
日本病理学会口腔病理専門医制度運営委員会

1. はじめに

現代の医療における病理学の重要性に鑑み、昭和 53 年 4 月に日本病理学会病理専門医（旧認定病理医）制度、ついで、昭和 63 年 5 月に日本病理学会口腔病理専門医（旧認定口腔病理医）制度が発足した。口腔病理専門医制度は、発足後 5 年間の暫定措置の後、平成 5 年度から認定試験が施行されてきた。この制度は、能力に優れた口腔病理医を認定することにより、わが国の医療内容の一層の充実と発展に寄与し、あわせて病理学の進歩に資することが目的である。

この目的にかなうよう、口腔病理専門医を目指すものは日本病理学会によって認定された研修施設において、人体病理学を 4 年以上研修し、求められる要件を充足していることが前提とされる。

この研修要綱は、口腔病理専門医試験を受けようとする病理研修者が習得しておくべき病理学的能力、ならびに口腔病理医に望まれる態度や姿勢を、一般研修目標および個別研修目標に分けて示したものである。一般研修目標とは期待される研修成果を総括的に表したもので、個別研修目標とは研修終了時において各人に求められる能力を、指導者ないし試験委員が観察または試験により評価できるよう具体的に述べたものである。したがって、これらの目標は口腔病理専門医試験と表裏一体をなすものである。

2. 一般研修目標

- (1) 卒前教育において習得した各種疾患の病理、ならびに病理学と関連する臨床的事項についての基本的知識をさらに発展させること。
- (2) 病態を正確に認識し、かつこれを表現する能力を有し、稀有でない症例については的確な病理診断を下しうること。さらに疾患診断や予後判定とともに、治療方針や研究方針についての病理学の立場から臨床医に助言を行い、必要に応じて批判も行いうること。
- (3) 口腔病理医に必要な基本的諸技能を習得していること。
- (4) 患者およびその家族の立場を尊重し、他の医師および関係者と協調して医療にあたる基本的態度を有すること。自己の能力を認識し、対象がその限界を超えると判断した時は、上司や専門家の助言を求める姿勢を持つこと。また、検討会、セミナーなどに積極的に参加し、生涯にわたり自己学習を続けるとともに、常に研究心を失わぬこと。設備や機器についても知識と関心を持ち、剖検室、病理検査室などの管理運営に努めること。

3. 個別研修目標

A. 剖検

- ☐ (1) 剖検の意義を認識すること。死体解剖保存法（昭和 24 年法律第 204 号）に従って必要な法的処置をとり、遺体に対して礼を失することなく丁寧に扱うこと。
- ☐ (2) 剖検に必要な設備と器具の特徴および使用法を熟知し、それらを正しく使用すること。
- ☐ (3) 感染症例の感染防止対策を指示できること。
- ☐ (4) 剖検に際しての問題点をまとめることができること。
- ☐ (5) 当該例に最もふさわしい解剖方法を選び、問題点を解決しながら遂行できること。
- ☐ (6) 肉眼所見を正しく把握、整理し、剖検時に可能な限り病理解剖学的診断を下すとともに、剖検後速やかに記録を作成すること。必要に応じて記録写真を撮ること。
- ☐ (7) 顕微鏡標本作製のための「切り出し」が的確にでき、通常の固定とともに必要があれば電子顕微鏡用の固定やその他の特殊固定を選択し、実行できること。
- ☐ (8) 微生物学的、生化学的、分子病理学的、あるいは毒物学的検査が必要か否かを判断し、必要であれば専門家に依頼するなど適切な処置ができること。
- ☐ (9) 臨床経過、検査データ、生前の組織診断、細胞診断を参照し、肉眼所見、組織所見を総合し、正しい剖検診断を作成・記録して臨床側に報告できること。必要に応じて細菌検査、血清検査、電子顕微鏡、特殊染色、免疫組織化学などの結果を的確に把握し診断の精度を向上させることができること。
- ☐ (10) 院内の CPC を施行し、関係者の教育ができること。

- ☐ (11) 剖検を研修医、学生および技師に指導できること。
 - ☐ (12) 剖検記録などの資料を整理・保管し、日本病理剖検輯報に登録できること。
- B. 生検、外科切除検体の病理診断
- ☐ (1) 生検が疾患の確定診断を下し、患者の治療方針、予後判定の重要な指標となることを十分認識すること。
 - ☐ (2) 病理検体検査について社会保険診療報酬、感染検体の取り扱い、医療廃棄物の取り扱いなどの基本的知識を有していること。
 - ☐ (3) 受理した検体の肉眼的所見を観察、記録し、必要に応じて写真、スケッチなどを付すこと。速やかに検査目的に合致した切り出しと固定を行うこと。また、必要な場合は捺印細胞診あるいは電子顕微鏡的、免疫学的、分子病理学的検査など特殊な検索に供するための処置を施すことができること。
 - ☐ (4) 組織標本の品質（切片の厚さ、染色性など）を判断し、技師へ再薄切、再切り出しなどの指示ができること。
 - ☐ (5) 組織所見を正確に把握でき、記載することができること。診断にあたっては、必要な臨床側の情報をできるだけ多く入手すること。また、特殊検査（一般特殊染色、免疫組織化学、分子病理学など）の知識を有するとともに、その必要性を理解し、適切にオーダーすることができるとともに、その結果を的確に判断できること。
 - ☐ (6) 正しい診断名を記し、適切な報告書を作製できること。また、それを臨床へ間違いなく提出できること。特に腫瘍の場合は、予後因子、治療効果なども含めて記載することができ、取扱い規約があるものについては、規約に準じて診断できること。
 - ☐ (7) 臨床からの問い合わせに的確に返答できること。また、不適切な診断を適宜修正・追加報告ができること。
 - ☐ (8) 組織診断報告書や切片・ブロックなどの管理についての理解があること。
 - ☐ (9) 難解例については無理に診断せず、コンサルテーションを受ける態度と習慣を身につけること。
 - ☐ (10) 求められる診断能力、知識の水準は別途記載する。
- C. 術中迅速診断
- ☐ (1) 凍結切片による迅速診断の意義と適応、凍結切片作製、染色ステップを理解し自らも標本作製ができること。
 - ☐ (2) 肉眼所見を正しく把握し、適切な切り出しができること。
 - ☐ (3) 一定の時間内に迅速診断を正しく手術場に報告することができること。永久標本に比し標本の精度が若干落ちることを考慮し、診断の行き過ぎを避けるなど慎重に対処すること。また、固定に関する知識を有していること。
 - ☐ (4) 永久標本による診断の確認を必ず行うこと。
 - ☐ (5) 症例によっては、細胞診標本（捺印・圧挫）を作製し、また、電子顕微鏡用固定ができること。
- D. 細胞診
- ☐ (1) 各種検体（婦人科、喀痰、気管支洗浄、擦過、胸水・腹水、尿、穿刺吸引など）を適切に処理できること。また、擦過・穿刺細胞診の正しい検体処理方法を臨床医に適切に指導できること。
 - ☐ (2) パパニコロー染色およびギムザ染色の方法の知識があり、自らも染色法を経験していること。細胞診標本に応用される特殊染色についての知識があること。
 - ☐ (3) 染色塗抹標本が診断に適正か否かの判断ができること。
 - ☐ (4) 細胞診標本のスクリーニングの経験があり、異常（異型細胞、炎症、病原体など）を指摘できること。
 - ☐ (5) 退行性病変、炎症、腫瘍などいずれの病態に属するかを判別し、悪性腫瘍細胞については可能な限り組織型を推定することができること。
 - ☐ (6) 再検、要生検、経過観察などの指示ができること。
 - ☐ (7) 細胞検査士と情報交換し、その指導ができること。
 - ☐ (8) 求められる診断能力、知識の水準は別途記載すること。

4. 特殊技能

- A. 特殊染色
- ☐ 特殊染色の知識を有し、その染色結果を判読できるとともに、常用されているものについては自らその手技の実施経験を有すること。知識水準は、別途記載する（細目参照）。
- B. 電子顕微鏡
- ☐ (1) 組織の固定、包埋、超薄、染色、電子顕微鏡（透過型）の使用法を説明できること。
 - ☐ (2) 細胞の微細構造を知り、病理診断に有用な所見についての基本を説明できること。知識水準については別途記載する（細目参照）。
 - ☐ (3) 免疫電顕法についての基礎を説明できること。
- C. 酵素組織化学
- ☐ (1) 酵素組織化学の病理診断への応用を指示することができ、その染色結果を判読できること。
 - ☐ (2) 知っておくべき酵素組織化学の知識水準は別途記載する（細目参照）。
- D. 免疫組織化学
- ☐ (1) 免疫組織化学の原理、操作法（抗原賦活法も含め）について説明できること。
 - ☐ (2) パラフィン切片を対象とした場合の、診断に有用な抗体（マーカー）について説明できること。
 - ☐ (3) 実際に、組織診断・細胞診断へ免疫組織化学を応用できること。
 - ☐ (4) 抗体、鑑別診断への応用についての知識水準は、別途記載する（細目参照）。
- E. 分子病理
- ☐ (1) 遺伝子、核酸についての知識、Southern blotting, Western blotting, polymerase chain reaction (PCR), in situ hybridization (ISH) についての基礎を説明できること。
 - ☐ (2) PCR, ISH などの分子病理学的検査法の病理診断における有用症例について説明できること。
2. 病理部門の管理・運営
- ☐ (1) 病院全体の管理・運営および医療監査の方法と其中で果たす病理部門の役割について述べることで、それを活用できること。
 - ☐ (2) 病理部門の経営、収入、人事管理についての基礎知識を有し、適切な管理運営ができること。
 - ☐ (3) 診療報酬、バイオハザード、廃棄物適正処理に関する基礎知識を有し、それを活用できること。
 - ☐ (4) 組織診断、細胞診断の精度管理についての基本的知識を有し、それを活用できること。診断に関するコンサルテーションについて理解していること。
 - ☐ (5) 研修医、学生、技師への教育に積極的に参加していること。

口腔病理専門医研修要綱細目

1. はじめに

本研修要綱細目においては、研修要綱に述べられている研修目標をより具体的に示すために、口腔病理専門医試験受験者が4年間の研修で修得しておかなければならない知識、技術の細目と、みずから診断できるべき疾患を列挙している。したがって、本細目は口腔病理専門医試験の出題基準となるべきものであり、大部分の問題はこの範囲内から出題される。

口腔病理専門医試験は、病理専門医試験と同一の全身病変と口腔病理専門医試験独自の口腔病変から構成される。全身病変については「病理専門医研修要項細目」と同一であり、以下の2. 総論、3. 各論に相当する。口腔病変については、専門性の高い内容を研修する必要があることから、4. 口腔病変として別記するが、口腔を構成する口唇、上・下顎歯肉、舌、口底、頬粘膜、口蓋や上・下顎骨、唾液腺に発症する病変以外にも、隣接する鼻腔・副鼻腔、咽頭、喉頭、頸部などを含めた頭頸部病変として理解すべきである。

2. 総論

A. 細胞

- ☐ (1) 細胞の基本構造：細胞の超微形態とその機能の基本を述べることができる。
- ☐ (2) 細胞障害の形態変化の種類と基本的事項、機序を把握し病理報告書に記載できる。細胞変性 degeneration の種類、壊死 necrosis, アポトーシス apoptosis
- ☐ (3) 細胞増殖：細胞増殖・細胞分裂に関する基本的事項を理解している。細胞増殖のパラメーターに flow cytometry, 免疫組織化学を利用することができる。
- ☐ (4) 組織・細胞の分化 differentiation について基本的事項を把握し用語を正しく使用できる。
- ☐ (5) 細胞分化の異常について正しい知識を有し、用語を正しく用いることができる。化生 metaplasia, 異形成 dysplasia, 退形成 anaplasia
- ☐ (6) 細胞・組織の適応：過形成 hyperplasia, 肥大 hypertrophy, 萎縮 atrophy, 低形成 hypoplasia に関する正しい知識を有し、用語を正しく用いることができる。
- ☐ (7) 細胞・組織障害の修復：再生組織細胞と真の腫瘍 (neoplasm) の鑑別を熟知している。
- ☐ (8) 創傷治癒 wound healing・器質化 organization・瘢痕化 scar formation の過程を理解して病理組織所見に記載できる。

B. 炎症

- ☐ (1) 炎症巣の構造と浸潤細胞：炎症に関わる細胞の種類を判定ができる。
- ☐ (2) 急性炎症、慢性炎症を理解している。
- ☐ (3) 炎症の種類、組織学的特徴を理解している。漿液性炎、線維素性炎、化膿性炎、出血性炎、壊死性炎と壊疽性炎
- ☐ (4) 慢性増殖性炎と肉芽腫性炎
慢性増殖性炎、肉芽腫性炎〔細菌性（結核、癩、梅毒、猫引っかき病、野兔病）、寄生虫、真菌、金属や粉塵、サルコイド、リウマチ、異物型〕の同定ができる。

C. 病原微生物と炎症反応

- ☐ (1) 組織細胞変化を理解し、一部のものについては病原体を推定することができる。
 - ☐ ウイルス感染
 - ☐ DNA ウイルス：ポックス Poxvirus, ヘルペス群 Herpesvirus group, アデノ Adenovirus, ヒトパピローマ Human papillomavirus (HPV), ポリオーマ Polyomavirus, ヒトパルボ (Human) Parvovirus
 - ☐ RNA ウイルス：ピコルナ Picornavirus, パラミキソ Paramyxovirus, フラビ Flavivirus, レトロ Retrovirus
 - ☐ リケッチア・クラミジア感染：クラミジア感染細胞の形態の判定ができる。
 - ☐ マイコプラズマ感染：細菌感染
 - ☐ 腸管感染症、化膿菌感染症
 - ☐ 肉芽腫性感染症：結核 tuberculosis, らい leprosy, 梅毒 syphilis, 野兔病 tularemia, 真菌 fungi など

- ☐ 放射菌症 actinomycosis
- ☐ 真菌感染
 - ☐ 表在性真菌症
 - ☐ 深在性真菌症: ☐カンジダ症 candidiasis, ☐アスペルギルス症 aspergillosis, ☐クリプトコッカス症 cryptococcosis, ☐接合菌症 zygomycosis (ムコール症 mucormycosis), ☐スポロトリコーシス sporotrichosis, ☐ニューモシスチス肺炎 pneumocystis pneumonia
- ☐ 原虫感染
 - ☐赤痢アメーバ症 amoebic dysentery, Entamoeba histolytica, ☐ランブル鞭毛虫症 giardiasis, Giardia intestinalis, ☐トリコモナス症 trichomoniasis, ☐マラリア malaria
- ☐ 寄生虫感染
 - ☐吸虫症 distomatosis : ☐住血吸虫感染症 schistosomiasis, ☐条虫症 cestodasis : ☐包虫症 echinococcosis (アニサキス症 anisakiasis), ☐線虫症 nematodiasis : ☐回虫症 ascariasis, ☐糸状虫症 filariasis
- ☐ (2) 日和見感染 opportunistic infection を理解している.
- ☐ (3) 全身感染症と敗血症 sepsis, 多臓器不全 multiple organ failure (MOF)について理解している.

D. 代謝障害

- ☐ (1) 脂質代謝障害 dyslipidemia
 - 中性脂質代謝障害: 高脂血症 hyperlipidemia, 脂肪肝 fatty liver, 動脈硬化症 arteriosclerosis, 黄色腫 xanthoma
 - 複合脂質代謝障害: リソソーム蓄積症 lysosomal storage disease
 - 主な疾患 (Gaucher 病, Niemann-Pick 病, Fabry 病, Tay-Sachs 病, Hurler 病など) の蓄積複合脂質の種類と蓄積臓器・細胞の特徴を理解している.
- ☐ (2) 糖代謝異常
 - ☐ 糖原病 glycogen storage disease I 型-VIII 型
 - 主な疾患 (von Gierke 病, Pompe 病など) の主な罹患臓器と組織学的特徴を理解している.
 - ☐ 糖尿病 diabetes mellitus
 - インスリン依存性糖尿病 (IDDM) (I 型糖尿病)
 - インスリン非依存性糖尿病 (NIDDM) (II 型糖尿病) の合併症について理解している.
- ☐ (3) 蛋白質代謝障害
 - アミノ酸代謝: ポルフィリン症 porphyria
 - 巨大蛋白の沈着症, 異常症: アミロイドーシス amyloidosis
- ☐ (4) 核酸代謝異常
 - 先天性プリン代謝異常: 高尿酸血症 hyperuricemia, Lesch-Nyhan 症候群
- ☐ (5) 色素代謝異常症
 - ヘモグロビン: 鎌状赤血球貧血 sickle-cell disease
 - 胆汁色素: 黄疸 jaundice (icterus)
- ☐ (6) 無機物代謝障害
 - 鉄: ヘモジデローシス hemosiderosis, ヘモクロマトーシス hemochromatosis
 - カルシウム代謝異常: 骨粗鬆症 osteoporosis, 骨軟化症 osteomalacia, 石灰沈着症 calcinosis
 - 結石 calculus: 胆石 cholelithiasis, 尿石 urolithiasis の主要なものについて, 構成成分, 肉眼的特徴を知っている.

E. 循環障害

- ☐ (1) 水腫 (浮腫) edema
- ☐ (2) 充血 hyperemia, うっ血 congestion
- ☐ (3) 出血 hemorrhage
- ☐ (4) 凝固系 coagulation cascade. 血栓症 thrombosis

- 血栓の形態学を理解しており，記載できる．
- ☐ (5) 播種性血管内凝固症候群 disseminated intravascular coagulation (DIC)
原因，形態学的変化を理解している．
- ☐ (6) 塞栓症 embolism の種類を理解している．
- ☐ (7) 梗塞 infarction の定義，種類（貧血性，出血性），形態学を理解している．
- ☐ (8) ショック shock における各臓器の病理学的変化の知識がある．
- ☐ (9) 高血圧 hypertension，低血圧 hypotension について臨床的知識を有している．

F. 免疫異常

- ☐ (1) 免疫応答機構 immune response とその調節について基礎知識を有している．
- ☐ (2) 免疫反応と組織障害
抗体 antibody の構造と機能，補体反応 complement system とその制御因子
細胞性免疫反応 cellular immune response (cell-mediated immunity)
アレルギー allergy のしくみと疾患：Ⅰ型（アナフィラキシー型），Ⅱ型（細胞障害型），Ⅲ型（免疫複合型），Ⅳ型（遅延型），Ⅴ型（刺激型）
- ☐ (3) 自己免疫病 autoimmune disease
概念・定義・分類についての知識がある．
 - ☐ 病態・病理
臓器特異的自己免疫病 organ-specific autoimmune disease，全身性自己免疫病 systemic autoimmune disease，抗基底膜病 anti-basement membrane disease
 - ☐ 橋本甲状腺炎 Hashimoto thyroiditis，☐ インスリン依存性糖尿病 insulin-dependent diabetes mellitus，☐ 全身性エリテマトーデス systemic lupus erythematosus (SLE)
 - ☐ 関節リウマチ rheumatoid arthritis，☐ 全身性硬化症 systemic sclerosis，☐ 皮膚筋炎 dermatomyositis・多発性筋炎 polymyositis
 - ☐ 混合性結合組織病 mixed connective tissue disease，☐ 結節性多発性動脈炎 polyarteritis nodosa，☐ シェーグレン症候群 Sjögren syndrome
 - ☐ IgG4 関連疾患 IgG4-related disease
- ☐ (4) 免疫不全症候群 immune deficiency syndrome
 - ☐ 原発性免疫不全 primary immune deficiency syndrome，☐ エイズ (acquired immunodeficiency syndrome, AIDS)
組織変化を理解しており，病理診断が可能である．

G. 腫瘍 neoplasm, neoplasia, tumor

- ☐ (1) 定義と分類
- ☐ (2) 良性腫瘍 benign tumor と悪性腫瘍 malignant tumor の差異をよく理解している．
- ☐ (3) 癌 carcinoma と肉腫 sarcoma の差異をよく理解している．
- ☐ (4) 悪性腫瘍の組織型・分化度などを正確に把握し記載できる．
- ☐ (5) 異型 atypia：細胞異型の正確な判定ができる．
- ☐ (6) 細胞診 cytology の知識を有し，的確な報告ができる．
- ☐ (7) 前癌病変 premalignant lesion と境界病変 borderline lesion の十分な知識を有している．
- ☐ (8) 癌の予後因子についての知識を有している．
- ☐ (9) 癌化 carcinogenesis の機構を理解しており，その際の重要な遺伝子変化の知識を有している．癌遺伝子 oncogene，癌抑制遺伝子 tumor suppressor gene (antioncogene)，アポトーシス apoptosis，細胞増殖 cell proliferation とそのマーカーの知識を有している．
- ☐ (10) 癌化に関わるウイルスの知識とその同定が可能である．
ヒトパピローマウイルス human papillomavirus (HPV)，Epstein-Barr ウイルス (EBV)
- ☐ (11) EGFR，c-kit，HER2 など代表的な分子標的療法に関わる事項を説明できる．

3. 各論

A. 口腔，歯，唾液腺

- ☐ (1) 口腔

- ☐ 粘液嚢胞 mucous cyst, ☐ 歯根嚢胞 radicular cyst, ☐ 原始性嚢胞 primordial cyst
- ☐ 含歯性嚢胞 dentigerous cyst, ☐ 石灰化嚢胞性歯原性腫瘍 calcifying cystic odontogenic tumor, ☐ 角化嚢胞性歯原性腫瘍 keratocystic odontogenic tumor, ☐ 扁桃腺炎 tonsillitis (腺窩性 lacunar), ☐ 扁平苔癬 lichen planus, ☐ 口腔上皮性異形成 oral epithelial dysplasia (口腔上皮内腫瘍 oral intraepithelial neoplasia), ☐ 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐ 疣贅性癌 verrucous carcinoma, ☐ 顆粒細胞腫 granular cell tumor
- ☐ (2) 歯
 - ☐ エナメル上皮腫 ameloblastoma, ☐ エナメル上皮線維腫 ameloblastic fibroma
- ☐ (3) 唾液腺
 - ☐ シェーグレン症候群 Sjögren syndrome, ☐ ミクリッツ症候群 Mikulicz syndrome (IgG4 との関連を知る), ☐ リンパ上皮性嚢胞 lymphoepithelial cyst, ☐ 多形腺腫 pleomorphic adenoma, ☐ 筋上皮腫 myoepithelioma, ☐ 基底細胞腺腫 basal cell adenoma, ☐ ワルチン腫瘍 Warthin tumor, ☐ オンコサイトーマ oncocytoma, ☐ 多形腺腫由来癌 carcinoma ex pleomorphic adenoma, ☐ 粘表皮癌 mucoepidermoid carcinoma, ☐ 腺様嚢胞癌 adenoid cystic carcinoma, ☐ 腺房細胞癌 acinic cell carcinoma, ☐ 多型低悪性度腺癌 polymorphous low-grade adenocarcinoma, ☐ 唾液腺導管癌 salivary duct carcinoma, ☐ 筋上皮癌 myoepithelial carcinoma, ☐ 上皮筋上皮癌 epithelial-myoepithelial carcinoma

B. 消化管

- ☐ (1) 食道
 - ☐ 静脈瘤 varix, ☐ 逆流性食道炎 reflux esophagitis, ☐ バレット食道 Barrett esophagus, ☐ Mallory-Weiss syndrome, ☐ 異所性胃粘膜 ectopic gastric mucosa, ☐ 異所性皮脂腺 ectopic sebaceous glands, ☐ 食道炎に伴う幼若再生上皮, ☐ 乳頭腫 squamous papilloma, ☐ 平滑筋腫 leiomyoma, ☐ 扁平上皮内腫瘍 squamous intraepithelial neoplasia (low grade, high grade), ☐ 上皮内癌 carcinoma in situ, ☐ 粘膜内癌 intramucosal carcinoma, ☐ 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐ 内分泌細胞癌 endocrine cell carcinoma, ☐ 偽肉腫 pseudosarcoma, ☐ 癌肉腫 carcinosarcoma, ☐ 紡錘型細胞癌 spindle cell carcinoma, ☐ 顆粒細胞腫 granular cell tumor ならびに随伴する扁平上皮偽癌腫様過形成 pseudocarcinomatous hyperplasia, ☐ 悪性黒色腫 malignant melanoma
- ☐ (2) 胃
 - ☐ 異所性膵 heterotopic pancreas, ☐ 胃粘膜下胃所腺 submucosal heterotopic glands of the stomach (gastritis cystica profunda), ☐ 急性胃炎 acute gastritis, ☐ アニサキス症 anisakiasis, ☐ 慢性胃炎 chronic gastritis, ☐ ヘリコバクター胃炎 *Helicobacter pylori* gastritis, ☐ A 型胃炎 type A gastritis, ☐ 吻合部胃炎 stomal gastritis, ☐ Ménétrier 病, ☐ びらん erosion, ☐ 消化性潰瘍 peptic ulcer, ☐ 過形成性ポリープ hyperplastic polyp, ☐ 胃底腺ポリープ fundic gland polyp, ☐ Cronkhite-Canada syndrome, ☐ 胃腸管若年性ポリポーシス gastrointestinal juvenile polyposis, ☐ 胃生検グループ分類 (Group 1-5), ☐ 腺腫 adenoma, ☐ 早期癌 early carcinoma, ☐ 進行癌 advanced carcinoma (取扱い規約を理解している), ☐ 早期癌と進行癌の肉眼型分類, ☐ carcinoma with lymphoid stroma, EBER (EB virus), ☐ カルチノイド腫瘍 carcinoid tumor, ☐ 小細胞 (内分泌細胞) 癌 small cell (endocrine cell) carcinoma, ☐ 炎症性線維性ポリープ inflammatory fibroid polyp, ☐ MALT 型節外性辺縁帯リンパ腫 (MALT リンパ腫) extranodal marginal zone B-cell lymphoma of MALT, ☐ gastrointestinal stromal tumor (GIST), ☐ 筋原性腫瘍 (平滑筋腫 leiomyoma, 平滑筋肉腫 leiomyosarcoma), ☐ 神経鞘腫 schwannoma
- ☐ (3) 十二指腸, 空腸, 回腸
 - ☐ メッケル憩室 Meckel's diverticulum, ☐ 異所性膵 heterotopic pancreas, ☐ 異所性胃粘膜 ectopic gastric mucosa, ☐ クロウン病 Crohn's disease, ☐ エルシニア腸炎 Yersinia infection, ☐ Behçet disease, ☐ ブルンナー腺過形成 (腺腫) Brenner gland hyperplasia (adenoma), ☐ 炎症性線維性ポリープ inflammatory fibroid polyp, ☐ Peutz-Jeghers 症候群 (ポリープ) Peutz-Jegher syndrome (polyp), ☐ 神経節細胞

傍神経節腫 gangliocytic paraganglioma, □カルチノイド腫瘍 carcinoid tumor, □乳頭部癌 carcinoma of major papilla, □悪性リンパ腫 malignant lymphoma (特にバーキットリンパ腫 Burkitt lymphoma, 十二指腸濾胞リンパ腫 duodenal follicular lymphoma)

- (4) 大腸 (含む虫垂), 肛門
 - ヒルシュスプルング病 Hirschsprung disease, □憩室 (炎) diverticulum (diverticulitis), □虚血性大腸炎 ischemic colitis, □閉塞性大腸炎 obstructive colitis, □粘膜脱症候群 mucosal prolapse syndrome (MPS), □痔核 hemorrhoid, □抗生剤性出血性大腸炎 antibiotic-associated hemorrhagic colitis, □偽膜性大腸炎 pseudomembranous colitis, □移植片対宿主病 graft-versus-host disease (GVHD), □バリウム肉芽腫 barium granuloma, □腸結核 intestinal tuberculosis, □細菌性腸炎 bacterial (entero) colitis (E.coli O-157 : H7, Staphylococcus aureus, Salmonellae, Shigellae), □アメーバ性大腸炎 amebic colitis, □スピロヘータ症, □ウイルス性大腸炎 viral colitis (特に CMV), □コラーゲン大腸炎 collagenous colitis, □潰瘍性大腸炎 ulcerative colitis, □クローン病 Crohn's disease, □アミロイドーシス amyloidosis, □腸管子宮内膜症 intestinal endometriosis, □過形成性ポリープ hyperplastic polyp, □若年性ポリープ juvenile polyp, □Peutz-Jeghers polyp, □腺腫 (管状, 管状・絨毛, 絨毛, 鋸歯状) adenoma (tubular, tubulovillous, villous, serrated), □sessile serrated polyp/adenoma, □大腸腺腫症 adenomatosis coli, □腺腫内癌 carcinoma in adenoma, □粘液嚢胞腺腫 mucinous cystadenoma, □粘液嚢胞腺癌 mucinous cystadenocarcinoma, □早期癌と進行癌の肉眼型分類, □大腸生検グループ分類 (Group 1-5), 癌腫 (取扱い規約を理解している), □カルチノイド腫瘍 carcinoid tumor, □杯細胞カルチノイド goblet cell carcinoid, □悪性リンパ腫 malignant lymphoma, □多発リンパ腫性ポリポーシス multiple lymphomatous polyposis, □悪性黒色腫 malignant melanoma
- (5) その他 (腹腔内)
 - 腹膜遊離体 peritoneal loose body, □腹膜中皮腫 mesothelioma, □線維形成性小円形細胞腫瘍 desmoplastic small round cell tumor, □腹膜偽粘液腫 pseudomyxoma peritonei

C. 膵臓

□急性・慢性膵炎 acute・chronic pancreatitis, □自己免疫性膵炎 (IgG4-関連疾患) autoimmune pancreatitis (IgG4-related disease), □膵脂肪置換 fatty replacement (lipomatosis) of the pancreas, □糖尿病 diabetes mellitus, □仮性嚢胞 pseudocyst, □膵上皮内腫瘍性病変 PanIN (Pancreatic intraepithelial neoplasia) 分類, □漿液性嚢胞腺腫 serous cystadenoma, □粘液性嚢胞性腫瘍 (mucinous cystic neoplasm, MCN) : □粘液性嚢胞腺腫 mucinous cystadenoma, □粘液性嚢胞腺癌 mucinous cystadenocarcinoma, □膵管内乳頭粘液性腫瘍 (intraductal papillary mucinous neoplasm, IPMN), □膵管内管状乳頭腫瘍 (intraductal tubulopapillary neoplasm, ITPN), □通常型膵管癌 common type ductal carcinoma, □腺房細胞癌 acinar cell carcinoma, □神経内分泌腫瘍 neuroendocrine neoplasms, □solid-pseudopapillary neoplasm, □膵芽腫 pancreatoblastoma

D. 肝, 胆道

- (1) 肝
 - ウイルス肝炎 viral hepatitis (A, B, C), □劇症, 急性, 慢性肝炎
 - アルコール性肝障害 alcoholic liver injury, □薬剤性肝障害 drug-induced liver injury, □自己免疫性肝炎 autoimmune hepatitis, □alcoholic steatohepatitis (ASH), □nonalcoholic steatohepatitis (NASH), □急性細胞性拒絶 acute cellular rejection, □慢性拒絶 chronic rejection, □液性拒絶 humoral rejection, □移植片対宿主病 graft-versus-host disease (GVHD), □脂肪肝 fatty liver, 小葉中心性, 周辺性, びまん性, □脂肪肝 fatty liver の原因について説明することができる. □急性妊娠性脂肪肝 acute fatty metamorphosis of liver in pregnancy, □胆道閉塞: 肝外性, 肝内性, □原発性胆汁性肝硬変 primary biliary cirrhosis, □原発性硬化性胆管炎 primary

sclerosing cholangitis, ☐胆道閉鎖症 biliary atresia, ☐新生児肝炎 neonatal hepatitis (巨細胞性肝炎 giant cell hepatitis), ☐非特異的反応性肝炎 nonspecific reactive hepatitis, ☐肝アミロイドーシス amyloidosis, ☐ヘモクロマトーシス hemochromatosis, ☐ウイルソン病 Wilson's disease, ☐1型糖原病 (von Gierke 病) type 1 glycogenosis (von Gierke's disease), ☐多嚢胞肝 polycystic liver, ☐カロリ病 Caroli's disease, ☐ニクズク肝 (慢性うっ血肝) nutmeg liver (chronic congestion of liver), ☐肝紫斑病 peliosis hepatis, ☐肝静脈閉塞症 veno-occlusive disease (VOD) of liver, ☐Dubin-Johnson 症候群 Dubin-Johnson syndrome, ☐肝硬変症 liver cirrhosis: 通常型 (小結節性 micronodular/大結節性 macronodular), 胆汁性 biliary, うっ血性 congestive, 色素性 pigmentary, 脂肪性 fatty, ☐日本住血吸虫症 Schistosomiasis japonica, ☐エキノコックス症 echinococcosis, ☐肝吸虫症 clonorchiasis, ☐孤立性非寄生虫性肝嚢胞 solitary nonparasitic cysts

<肝細胞性腫瘍及び腫瘍様病変>

☐結節性再生過形成 nodular regenerative hyperplasia, ☐限局性結節性過形成 focal nodular hyperplasia, ☐肝細胞腺腫 liver cell adenoma, ☐異型結節 dysplastic nodule (軽度異型結節, 高度異型結節), ☐肝細胞癌 hepatocellular carcinoma, ☐初期の高分化型肝細胞癌 early hepatocellular carcinoma of well differentiated type, ☐肝芽腫 hepatoblastoma, ☐肝内胆管癌 cholangiocarcinoma, ☐混合型肝癌 mixed hepatocellular and cholangiocarcinoma

<間葉性腫瘍及び腫瘍様病変>

☐血管腫 hemangioma, ☐上皮様血管内皮腫 epithelioid hemangioendothelioma, ☐血管肉腫 angiosarcoma, ☐血管筋脂肪腫 angiomyolipoma, ☐胆管過誤腫 von Meyenburg complex, ☐転移性腫瘍, ☐白血病浸潤 leukemic cell infiltration

☐ (2) 胆道

☐胆道閉鎖症 biliary atresia, ☐先天性総胆管拡張症 congenital choledochal cyst, ☐胆嚢コレステリン沈着症 cholesterosis, ☐コレステロールポリープ cholesterol polyp, ☐胆石症 cholelithiasis, ☐慢性胆嚢炎 chronic cholecystitis, ☐急性胆嚢炎 acute cholecystitis, ☐黄色肉芽腫性胆嚢炎 xanthogranulomatous cholecystitis, ☐腺筋腫様過形成 adenomyomatous hyperplasia (adenomyomatosis), ☐陶器様胆嚢 porcelain gallbladder, ☐腺腫 (幽門腺型, 腸型) adenoma (pyloric gland type, intestinal type), ☐異形成 dysplasia, ☐上皮内癌 carcinoma in situ, ☐早期癌 early carcinoma, ☐進行癌 advanced carcinoma

E. 呼吸器

☐ (1) 肺

☐生検肺, 剖検肺の取り扱い方, 固定法を理解している.

☐気管支, 肺動・静脈の走行, 肺区域について説明できる.

<感染症>

☐細菌性肺炎 bacterial pneumonia: ☐気管支肺炎 bronchopneumonia, ☐大葉性肺炎 lobar pneumonia, ☐肺結核症 pulmonary tuberculosis: 初期変化群 primary complex, 滲出型, 増殖型, 粟粒結核症 miliary tuberculosis, 結核腫 tuberculoma
☐肺真菌感染 (☐アスペルギルス aspergillus, ☐カンジダ candida, ☐クリプトコッカス cryptococcus, ☐接合菌 (ムコール) mucor, ☐ニューモシスチス肺炎 pneumocystis pneumonia, ☐巨細胞肺炎 giant cell pneumonia (麻疹肺炎 measles pneumonia), ☐巨細胞封入体性肺炎 (サイトメガロウイルス)

cytomegalic inclusion body pneumonia, ☐びまん性汎細気管支炎 diffuse panbronchiolitis, ☐間質性肺炎 interstitial pneumonia (IP), ☐肺線維症 pulmonary fibrosis: ☐特発性間質性肺炎 idiopathic IP, ☐膠原病に合併した IP collagen disease-associated IP, 間質性肺炎の病理組織分類を理解している. ☐通常型間質性肺炎 (usual interstitial pneumonia: UIP), ☐非特異性間質性肺炎 (nonspecific interstitial pneumonia: NSIP), ☐器質化肺炎 (organizing pneumonia: OP), ☐呼吸細気管支炎関連性間質性肺疾患 (respiratory bronchiolitis-associated interstitial lung disease: RB-ILD), ☐剥離性間質性肺炎 (desquamative interstitial pneumonia: DIP), ☐リンパ球性間質性肺炎 (lymphocytic interstitial pneumonia:

LIP), ☐びまん性肺胞傷害 (diffuse alveolar damage : DAD), ☐過敏性肺臓炎 hypersensitivity pneumonitis, ☐サルコイドーシス sarcoidosis
<循環障害>

☐肺うつ血 pulmonary congestion, ☐肺浮腫 pulmonary edema, ☐肺動脈の塞栓 pulmonary artery thrombosis, ☐肺梗塞 pulmonary infarction, ☐肺高血圧症 pulmonary hypertension, ☐塵肺症 pneumoconiosis : ☐石綿肺 asbestosis, ☐珪肺 silicosis, ☐無気肺 atelectasis, ☐円形無気肺 round atelectasis, ☐肺気腫 emphysema, ☐bullae, ☐bleb, ☐肺リンパ脈管筋腫症 lymphangiomyomatosis (LAM), ☐Wegener 肉芽腫症 Wegener's granulomatosis, ☐肺胞蛋白症 pulmonary alveolar (lipo) proteinosis, ☐炎症性偽腫瘍 inflammatory pseudotumor
<腫瘍性病変>

☐異型腺腫様過形成 atypical adenomatous hyperplasia (AAH), ☐原発性肺癌 (取扱い規約の分類を理解している) : ☐扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐腺癌 adenocarcinoma, ☐腺扁平上皮癌 adenosquamous carcinoma, ☐小細胞癌 small cell carcinoma, ☐大細胞癌 large cell carcinoma, ☐大細胞神経内分泌癌 large cell neuroendocrine carcinoma, ☐転移性肺癌 metastatic carcinoma (癌性リンパ管症の特徴を理解), ☐カルチノイド腫瘍 carcinoid tumor, ☐悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐肺芽腫 pulmonary blastoma, ☐肺過誤腫 pulmonary hamartoma, ☐硬化性血管腫 sclerosing hemangioma, ☐肺内リンパ節 intrapulmonary lymph node, ☐テューモレット tumorlet, ☐微小髄膜細胞様結節 minute pulmonary meningothelial-like nodule

☐ (2) 胸膜

☐胸膜炎 pleuritis (漿液性, 線維素性, 漿液線維素性, 線維性, 化膿性, 結核性), ☐孤在性線維性腫瘍 (良性線維性中皮腫) solitary fibrous tumor (benign fibrous mesothelioma), ☐悪性中皮腫 malignant mesothelioma

☐ (3) 上気道

☐喉頭結節 (ポリープ) laryngeal nodule (polyp), ☐鼻茸 nasal polyp, ☐副鼻腔炎 sinusitis, ☐肥厚性鼻炎 hypertrophic rhinitis, ☐鼻・副鼻腔乳頭腫 sinonasal papilloma, ☐内反性乳頭腫 inverted papilloma, ☐鼻咽頭 (若年性) 血管線維腫 (nasopharyngeal angiofibroma, juvenile angiofibroma), ☐扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐疣状癌 verrucous carcinoma, ☐未分化癌 undifferentiated carcinoma (リンパ上皮腫 lymphoepithelioma), ☐嗅神経芽細胞腫 olfactory neuroblastoma, ☐悪性リンパ腫 malignant lymphoma, 節外性 NK/T 細胞リンパ腫 (鼻型) nasal type NK/T-cell lymphoma, ☐悪性黒色腫 malignant melanoma, ☐Wegener 肉芽腫症 Wegener's granulomatosis

F. 縦隔

☐気管支性嚢胞 bronchogenic cyst, ☐Castleman 病 Castleman disease, ☐胸腺腫 thymoma, ☐胸腺脂肪腫 thymolipoma, ☐胸腺癌 thymic carcinoma, ☐奇形腫 teratoma, ☐悪性リンパ腫 malignant lymphoma (特に T リンパ芽球性 T lymphoblastic, 結節硬化型 Hodgkin リンパ腫 nodular sclerosis Hodgkin lymphoma), ☐胚細胞性腫瘍 germ cell tumor

G. 心・血管

☐ (1) 心

☐心の取り出し方, 切開法について説明できる.
☐心刺激伝導系の検索法と組織学的所見を理解している.
☐拡張型心筋症 dilated cardiomyopathy, ☐肥大型心筋症 hypertrophic cardiomyopathy, ☐拘束性心筋症 restrictive cardiomyopathy, ☐心筋炎 myocarditis, ☐巨細胞性心筋炎 giant cell myocarditis, ☐ヘモクロマトーシス hemochromatosis, ☐Pompe 病 Pompe's disease, ☐Fabry 病 Fabry disease, ☐心アミロイドーシス cardiac amyloidosis, ☐リウマチ性心内膜炎 rheumatic endocarditis, ☐リウマチ性弁膜症 rheumatic valvular disease, ☐リウマチ性心筋炎 rheumatic myocarditis, ☐心サルコイドーシス cardiac sarcoidosis, ☐心内膜線維弾性症 endocardial

fibroelastosis, ☐ 感染性心内膜炎 infective endocarditis, ☐ 非細菌性血栓性心内膜炎 nonbacterial thrombotic endocarditis, ☐ 僧帽弁逸脱症候群 mitral valve prolaps syndrome, ☐ 非定型的疣贅性心内膜炎 Libman-Sacks endocarditis, ☐ 線維素性心外膜炎 fibrinous pericarditis, ☐ 結核性心外膜炎 tuberculous pericarditis, ☐ 心筋梗塞 myocardial infarction (責任動脈を答えることができる), ☐ 乳頭状線維弾性腫 papillary fibroelastoma, ☐ 横紋筋腫 cardiac rhabdomyoma, ☐ 心臓粘液腫 cardiac myxoma, ☐ 心・大血管奇形 (心内膜症欠損症などの主要な奇形の肉眼所見について述べることができる) ☐ Quilty effect

☐ (2) 血管

☐ 結節性動脈周囲炎 periarteritis nodosa (結節性多発性動脈炎 polyarteritis nodosa), ☐ 閉塞性血栓性血管炎 (Buerger 病) thromboangiitis obliterans, ☐ 粥状硬化症 atherosclerosis, ☐ Mönckeberg 動脈硬化症 Mönckeberg's arteriosclerosis, ☐ 動脈瘤 aneurysm, ☐ 大動脈解離 aortic dissection, ☐ 炎症性大動脈瘤 inflammatory aortic aneurysm, ☐ 静脈瘤 varicose vein, ☐ 嚢胞性中膜壊死 cystic medial necrosis, ☐ 線維筋性異形成 fibromuscular dysplasia, ☐ 巨細胞性動脈炎 giant cell arteritis, ☐ 血栓症 thrombosis

H. リンパ・造血系

☐ (1) 骨髄

☐ 貧血 anemia (再生不良性 aplastic, 巨赤芽球性 megaloblastic), ☐ 特発性血小板減少性紫斑病 idiopathic thrombocytopenic purpura, ☐ 血球貪食症候群 hemophagocytic syndrome, ☐ 真性多血症 erythrocythemia vera, ☐ 骨髄異形成症候群 myelodysplastic syndrome (MDS), ☐ 急性骨髄性白血病 acute myelogenous leukemia, ☐ 慢性骨髄性白血病 chronic myelogenous leukemia, ☐ 急性リンパ性白血病 acute lymphocytic leukemia, ☐ 慢性リンパ性白血病 chronic lymphocytic leukemia, ☐ 骨髄線維症 myelofibrosis, ☐ 多発性骨髄腫 multiple myeloma, ☐ FAB 分類について説明できる.

☐ (2) リンパ節

<反応性変化>

☐ 反応性濾胞腫大 reactive follicular hyperplasia, ☐ 洞組織球症 sinus histiocytosis, ☐ 皮膚病性リンパ節症 dermatopathic lymphadenopathy, ☐ リウマチ性リンパ節症 rheumatoid lymphadenopathy, ☐ 組織球性壊死性リンパ節炎 (菊池病) subacute necrotizing lymphadenitis, Kikuchi-Fujimoto lymphadenitis), ☐ トキソプラズマ性リンパ節炎 (ピリンガーリンパ節炎) toxoplasmic lymphadenitis (Piringer lymphadenitis), ☐ 木村病 Kimura's disease, ☐ サルコイドーシス sarcoidosis, ☐ ネコひっかき病 cat scratch disease, ☐ 結核性リンパ節炎 tuberculous lymphadenitis

<腫瘍性病変>

☐ ホジキンリンパ腫 Hodgkin lymphoma, ☐ T-cell lymphoma (lymphoblastic, angioimmunoblastic T-cell lymphoma, ATL, peripheral T-cell lymphoma, unspecified), ☐ B-cell lymphoma (SLL/CLL, follicular, MALT, mantle cell, diffuse large, Burkitt), ☐ 未分化大細胞型リンパ腫 anaplastic large cell lymphoma, ☐ 血管内大細胞型 B 細胞性リンパ腫 intravascular large B-cell lymphoma, ☐ Rosai-Dorfman disease, ☐ Castleman's disease (hyaline vascular 型, plasma cell 型, multicentric 型), ☐ 悪性腫瘍の転移 metastatic malignancies of lymph node

☐ (3) 脾

☐ 梗塞 infarction, ☐ 慢性うっ血 chronic congestion, ☐ Gamna-Gandy 結節 ☐ Niemann-Pick 病, ☐ Gaucher 病, ☐ アミロイドーシス amyloidosis, ☐ 髄外造血 extramedullary hematopoiesis

☐ (4) 総論

☐ リンパ球のクローナリティーの証明法, 悪性リンパ腫・白血病における主要な染色体転座, 遺伝子異常を説明できる.

☐ リンパ球 (T, B, NK), 組織球の主要なマーカーについて知っている.

I. 泌尿器

□ (1) 膀胱, 尿道, 尿管

□ 尿路結石の種類, 肉眼的性状, □ 急性膀胱炎 acute cystitis, □ 慢性膀胱炎: Brunn 巢, 嚢胞性膀胱炎 cystitis cystica, 腺性膀胱炎 cystitis glandularis, □ 好酸球性膀胱炎 eosinophilic cystitis, □ マラコプラキア malakoplakia (Michaelis-Gutmann body), □ 腎原性腺腫 nephrogenic adenoma, □ 尿路上皮乳頭腫 urothelial papilloma, □ 内反性乳頭腫 inverted papilloma, □ 尿路上皮癌 urothelial carcinoma, low grade, high grade, 上皮内癌 (CIS), 腺癌 adenocarcinoma, (取扱い規約の書き方), BCG 療法後の所見, □ 傍神経節腫 paraganglioma, □ 腺癌 adenocarcinoma, urachal carcinoma

□ (2) 腎臓

□ 腎盂腎炎 pyelonephritis (急性, 慢性, 黄色肉芽腫性 xanthogranulomatous), □ 腎硬化症 nephrosclerosis (良性, 悪性), □ 動脈硬化, □ 血栓性微小血管症 thrombotic microangiopathy, □ 播種性血管内凝固症候群 disseminated intravascular coagulation, □ 急性尿細管壊死 acute tubular necrosis, □ 両側腎皮質壊死 bilateral renal cortical necrosis, □ 腎梗塞 renal infarction, □ 腎乳頭壊死 renal papillary necrosis, □ 多発性嚢胞腎 polycystic kidney disease: 先天性 (Potter I 型), 成人性 (Potter III 型)

< 腎腫瘍 >

□ 皮質腺腫 cortical adenoma, □ 血管筋脂肪腫 angiomyolipoma, □ 髄質線維腫 medullary fibroma, □ 腎細胞癌 renal cell carcinoma, □ 嫌色素性腎細胞癌 chromophobe renal cell carcinoma, □ 乳頭状腎細胞癌 papillary renal cell carcinoma, □ 集合管癌 (carcinoma of the collecting ducts of Bellini), □ 腎芽腫 nephroblastoma (Wilms tumor) (取扱い規約を理解している)

< 糸球体腎炎 >

□ 微小変化糸球体病変 minor glomerular abnormalities, □ 膜性糸球体腎炎 membranous glomerulonephritis (GN), □ メサングウム増殖性糸球体腎炎 mesangial proliferative GN, □ 管内増殖性糸球体腎炎 endocapillary proliferative GN, □ 膜性増殖性糸球体腎炎 membranoproliferative GN, □ 半月体形成性糸球体腎炎 crescentic GN, □ 巣状分節性糸球体硬化症 focal segmental glomerulosclerosis, □ IgA 腎炎 IgA nephropathy, □ ループス腎炎 lupus nephritis, □ Goodpasture 症候群, □ 糖尿病性変化: 糖尿病性糸球体硬化 diabetic glomerulosclerosis (Kimmelstiel-Wilson syndrome), fibrin cap

< 膠原病 (結合織病) に伴う腎病変 >

□ 全身性エリテマトーデス systemic lupus erythematosus (lupus nephritis), □ 結節性動脈炎 polyarteritis nodosa, □ Wegener's granulomatosis, □ 進行性全身性硬化症 progressive systemic sclerosis, □ アミロイドーシス amyloidosis, □ 痛風性腎炎 gouty nephritis, □ 骨髄腫腎 myeloma kidney

J. 内分泌

□ (1) □ ホルモンの種類とその作用の知識を有している

□ (2) 下垂体

□ クルック変性 Crooke hyaline changes, □ 下垂体腺腫 pituitary adenoma, □ 頭蓋咽頭腫 craniopharyngioma, □ ラトケ裂嚢胞 Rathke's cleft cyst

□ (3) 甲状腺

□ 橋本病 Hashimoto's disease, □ Graves' disease (Basedow 病), □ 亜急性甲状腺炎 subacute thyroiditis, □ 黒色甲状腺 black thyroid, □ 腺腫様 (結節性) 甲状腺腫 adenomatous (nodular) goiter, □ 濾胞腺腫 follicular adenoma, □ 硝子化索状腺腫 hyalinizing trabecular adenoma, □ 乳頭癌 papillary carcinoma, □ 濾胞型乳頭癌 follicular variant of papillary carcinoma, □ 濾胞癌 follicular carcinoma, □ 髄様癌 medullary carcinoma, □ 未分化癌 anaplastic carcinoma, □ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma

□ (4) 副甲状腺

- ☐ 過形成 hyperplasia, ☐ 腺腫 adenoma, ☐ 癌 carcinoma
- ☐ (5) 膵臓
 - ☐ 糖尿病の際の Langerhans 島変化
- ☐ (6) 神経内分泌腫瘍 neuroendocrine neoplasms
 - ☐ 神経内分泌腫瘍 (neuroendocrine tumors) : NET, G1; NET, G2, ☐ 神経内分泌癌 (neuroendocrine carcinoma) : large cell NEC, small cell NEC, ☐ EC cell, serotonin-producing NET (carcinoid), ☐ gastrinoma, ☐ glucagonoma, ☐ insulinoma, ☐ somatostatinoma, ☐ VIPoma
- ☐ (7) 副腎
 - ☐ 皮質過形成 (びまん性, 結節性) adrenocortical hyperplasia (diffuse, nodular)
 - ☐ 皮質腺腫 adrenocortical adenoma, ☐ 原発性アルドステロン症 primary aldosteronism, ☐ クッシング症候群 Cushing's syndrome, ☐ 副腎性器症候群 adrenogenital syndrome, ☐ 副腎皮質癌 adrenal cortical carcinoma, ☐ 褐色細胞腫 pheochromocytoma (含, 傍神経節腫 paraganglioma), ☐ 神経芽腫 neuroblastoma, ☐ 神経節細胞腫 ganglioneuroma, ☐ 骨髄脂肪腫 myelolipoma
- ☐ (8) ☐ カルチノイド腫瘍 carcinoid tumor
 - ☐ 気管支, 消化管, その他前腸, 中腸, 後腸由来カルチノイドの特徴の知識がある.
- ☐ (9) ☐ 多発性内分泌腫瘍 multiple endocrine neoplasia (MEN) I, II, III 型について説明できる.

K. 乳腺

- ☐ 乳腺の基本構造を理解している
- ☐ 乳管内乳頭腫 intraductal papilloma, ☐ 乳管腺腫 ductal adenoma, ☐ 乳頭部腺腫 nipple adenoma, ☐ 腺筋上皮腫 adenomyoepithelioma, ☐ 授乳期腺腫 lactating adenoma, ☐ 非浸潤性乳管癌 noninvasive ductal carcinoma (DCIS), ☐ 非浸潤性小葉癌 lobular carcinoma in situ, ☐ 浸潤性乳管癌 (乳頭乳管癌, 充実腺管癌, 硬癌) invasive ductal carcinoma (papillotubular, solid-tubular, scirrhous), ☐ 粘液癌 mucinous carcinoma, ☐ 髄様癌 medullary carcinoma, ☐ 浸潤性小葉癌 invasive lobular carcinoma, ☐ アポクリン癌 apocrine carcinoma, ☐ 骨・軟骨化生を伴う癌 carcinoma with cartilaginous and/or osseous metaplasia (化生性癌 metaplastic carcinoma), ☐ 管状癌 tubular carcinoma, ☐ 分泌癌 secretory carcinoma, ☐ 浸潤性微小乳頭癌 invasive micropapillary carcinoma, ☐ パジエット病 Paget disease, ☐ 線維腺腫 fibroadenoma, ☐ 葉状腫瘍 phyllodes tumor (benign, borderline, malignant), ☐ 乳腺症 fibrocystic disease, ☐ 乳管乳頭腫症 (乳管過形成) ductal papillomatosis (ductal hyperplasia), ☐ 閉塞性腺症 blunt duct adenosis, ☐ 硬化性腺症 sclerosing adenosis, ☐ アポクリン化生 apocrine metaplasia, ☐ 乳管拡張症 duct ectasia, ☐ 過誤腫 hamartoma, ☐ 乳腺線維症 fibrous disease (糖尿病性乳腺症 diabetic mastopathy), ☐ 放射状硬化性病変 radial sclerosing lesion, ☐ 女性化乳房 gynecomastia, ☐ 副乳 accessory breast, ☐ 転移癌 metastatic carcinoma, ☐ 乳癌の予後因子, ☐ TNM 分類, ☐ 乳癌の腫瘍マーカーの意義 (ER, PgR, HER2 の評価法を理解している), ☐ センチネルリンパ節 (検査法を理解している).

L. 女性生殖器

- ☐ (1) 外陰
 - ☐ 尖圭コンジローマ condyloma acuminatum, ☐ 線維上皮性ポリープ fibroepithelial polyp, ☐ 侵襲性血管粘液腫 aggressive angiomyxoma, ☐ ボーエン病 Bowen disease, ☐ Bowen 様丘疹症 Bowenoid papulosis, ☐ vulvar intraepithelial neoplasia (VIN), ☐ 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐ 乳房外パジエット病 extramammary Paget disease, ☐ 乳頭状汗腺腫 hidradenoma papilliferum, ☐ 悪性黒色腫 malignant melanoma, ☐ バルトリン腺嚢胞 Bartholin's cyst, ☐ バルトリン腺膿瘍 Bartholin's abscess, ☐ 尿道カルンクル urethral caruncle
- ☐ (2) 膣
 - ☐ 乳頭腫 papilloma, ☐ vaginal intraepithelial neoplasia (VAIN), ☐ 扁平上皮癌

squamous cell carcinoma, □ブドウ状肉腫 botryoid sarcoma

□ (3) 子宮頸部

□扁平上皮化生 squamous metaplasia, □頸部びらん cervical erosion, □慢性子宮頸管炎 chronic cervicitis, □子宮頸管ポリープ endocervical polyp, □微小腺管過形成 microglandular hyperplasia, □ナボット濾胞 nabothian follicle (ovula Nabothi), □トンネル・クラスター tunnel clusters, □微小腺管過形成 microglandular hyperplasia, □内頸部腺過形成 endocervical glandular hyperplasia, □分葉状内頸部腺過形成 lobular endocervical glandular hyperplasia (LEGH), □脱落膜反応, □感染症 (herpes simplex, クイラムジヤ, トリコモナス, 梅毒, ヒトパピローマウイルス: HPV) □HPV のサブタイプについての知識がある.
□扁平上皮乳頭腫, □尖圭コンジローマ, □子宮頸部上皮内腫瘍 cervical intraepithelial neoplasia (CIN), □コイロサイトーシス koilocytosis (koilocytotic atypia), □軽度異形成 mild dysplasia (CIN1), □中等度異形成 moderate dysplasia (CIN2), □高度異形成 severe dysplasia (CIN3) □扁平上皮内癌 squamous carcinoma in situ (CIS) (CIN3), □微小浸潤扁平上皮癌 microinvasive squamous cell carcinoma, □扁平上皮癌 squamous cell carcinoma (特殊型: □疣 (いぼ) 状癌 verrucous carcinoma, □乳頭状扁平上皮癌 papillary squamous cell carcinoma など), □The Bethesda system (TBS)との関連性についての知識がある, □腺異形成 glandular dysplasia, □上皮内腺癌 adenocarcinoma in situ (AIS), □微小浸潤腺癌 microinvasive adenocarcinoma, □粘液性腺癌 mucinous adenocarcinoma (内頸部型 endocervical type, 腸型 intestinal type, 印環細胞型 signet-ring cell type, 最小偏倚 (へんい) 型 minimal deviation type, 絨毛線管状 villoglandular type), □類内膜腺癌 endometrioid adenocarcinoma, □明細胞腺癌 clear cell adenocarcinoma, □漿液性腺癌 serous adenocarcinoma, □中腎性腺癌 mesonephric adenocarcinoma, □腺扁平上皮癌 adenosquamous carcinoma, □すりガラス細胞癌 glassy cell carcinoma, □腺様基底細胞癌 adenoid basal carcinoma, □小細胞癌 small cell carcinoma

□ (4) 子宮体部

□日付診, □ホルモン治療効果, □内膜炎 endometritis (急性, 慢性, 結核性), □放線菌症 actinomycosis, □子宮腺筋症 adenomyosis, 子宮内膜症 endometriosis, □子宮内膜増殖症 endometrial hyperplasia (単純型 simple, 複雑型 complex, 子宮内膜異型増殖症 atypical endometrial hyperplasia), □子宮内膜ポリープ endometrial polyp, □アリアス・ステラ反応 Arias-Stella reaction, □子宮内膜癌 endometrial carcinoma (□類内膜腺癌 endometrioid adenocarcinoma, □粘液性腺癌 mucinous adenocarcinoma, □漿液性腺癌 serous adenocarcinoma, □明細胞腺癌 clear cell adenocarcinoma, □扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, □小細胞癌 small cell carcinoma, □未分化癌 undifferentiated carcinoma), □低悪性度子宮内膜間質肉腫 endometrial stromal sarcoma, low grade, □未分化子宮内膜肉腫 undifferentiated endometrial sarcoma, □平滑筋腫 leiomyoma (活動性核分裂型平滑筋腫 mitotically active leiomyoma, 富細胞平滑筋腫 cellular leiomyoma, 類上皮平滑筋腫 epithelioid leiomyoma, 類粘液平滑筋腫 myxoid leiomyoma, 異型平滑筋腫 atypical leiomyoma, 脂肪平滑筋腫 lipoleiomyoma, 悪性度不明な平滑筋腫 smooth muscle tumor of unknown malignant potential (STUMP)), □平滑筋肉腫 leiomyosarcoma, □アデノマトイド腫瘍 adenomatoid tumor, □良性上皮性・間葉性混合腫瘍 benign mixed epithelial and mesenchymal tumor 変異型: ポリープ状異型腺筋腫 atypical polypoid adenomyoma), □悪性上皮性・間葉性混合腫瘍 malignant mixed epithelial and mesenchymal tumor (腺肉腫 adenosarcoma, 癌肉腫 carcinosarcoma)

□ (5) 胎盤

□正常胎盤 (妊娠初期, 妊娠後期), □双胎の胎盤 (一卵性・二卵性), □絨毛様膜炎 chorioamnionitis, □絨毛血管腫 chorangioma, □胎状奇胎 (全, 部分) hydatidiform mole (complete, partial), □侵入胎状奇胎 invasive hydatidiform mole, □絨毛癌 choriocarcinoma, □胎盤部栄養膜細胞腫瘍 placental site trophoblastic

tumor (PSTT), ☐ 羊膜結節 amnion nodosum, ☐ 胎盤 (または脱落膜) 遺残,
☐ 癒着胎盤, ☐ 妊娠高血圧, ☐ 羊水塞栓症

☐ (6) 卵管

☐ 卵管炎 salpingitis, ☐ 卵管-卵巣膿瘍 tubo-ovarian abscess, ☐ 卵管妊娠 tubal pregnancy, ☐ 子宮内膜症 endometriosis

☐ (7) 卵巣

☐ 黄体嚢胞 corpus luteum cyst, ☐ 卵胞性嚢胞 follicle cyst, ☐ 表層上皮封入嚢胞 surface epithelial inclusion cyst, ☐ 子宮内膜症性嚢胞 endometriotic cyst (チョコレート様嚢胞), ☐ 妊娠黄体腫 luteoma of pregnancy, ☐ 間質過形成 stromal hyperplasia, ☐ 間質性莢膜細胞過形成 stromal hyperthecosis, ☐ 広汎性浮腫 massive edema, ☐ Stein-Leventhal 症候群, ☐ 卵巣腫瘍の組織発生を理解している, ☐ 漿液性嚢胞腺腫 serous cystadenoma, ☐ 漿液性腺線維腫 serous adenofibroma, ☐ 漿液性境界悪性腫瘍 serous borderline tumor, ☐ 漿液性腺癌 serous adenocarcinoma, ☐ 漿液性表在性乳頭状腺癌 serous surface papillary adenocarcinoma, ☐ 粘液性嚢胞腺腫 mucinous cystadenoma, ☐ 粘液性境界悪性腫瘍, 腸型 mucinous borderline tumor, intestinal type, 粘液性境界悪性腫瘍, 内頸部様 mucinous borderline tumor, endocervical-like (seromucinous borderline tumor), ☐ 粘液性腺癌 mucinous adenocarcinoma, ☐ 類内膜腺癌 endometrioid adenocarcinoma, ☐ 明細胞腺癌 clear cell adenocarcinoma, ☐ ブレンナー腫瘍 Brenner tumor, ☐ 境界悪性ブレンナー腫瘍 borderline Brenner tumor, ☐ 悪性ブレンナー腫瘍 malignant Brenner tumor, ☐ 未分化癌 undifferentiated carcinoma, ☐ 顆粒膜細胞腫 granulosa cell tumor (成人型 adult, 若年型 juvenile), ☐ 線維腫 fibroma, ☐ 莢膜細胞腫 thecoma, ☐ セルトリ・間質細胞腫瘍 Sertoli-stromal cell tumor, ☐ セルトリ・ライデッヒ細胞腫 Sertoli-Leidig cell tumor, ☐ ステロイド細胞腫瘍 Steroid cell tumor, ☐ 輪状細管を伴う性索腫瘍 sex cord tumor with annular tubules, ☐ ギナンドロブラストーマ Gynandroblastoma, ☐ ディスジャーミノーマ dysgerminoma, ☐ 卵黄嚢腫瘍 yolk sac tumor, ☐ 胎芽性癌 embryonal carcinoma, ☐ 非妊娠性絨毛癌 non-gestational choriocarcinoma, ☐ 奇形腫 teratoma (☐ 未熟奇形腫 immature teratoma, ☐ 成熟奇形腫 mature teratoma, ☐ 卵巣甲状腺腫 struma ovarii, ☐ カルチノイド腫瘍 carcinoid tumor, ☐ 性腺芽腫 gonadoblastoma, ☐ 小細胞癌 small cell carcinoma (高カルシウム血症型 hypercalcemic type, 肺型 pulmonary type), ☐ 大細胞神経内分泌癌 large cell neuroendocrine carcinoma, ☐ Krukenberg 腫瘍

M. 運動器

☐ (1) 骨

☐ 急性化膿性骨髄炎 acute suppurative osteomyelitis, ☐ 慢性骨髄炎 chronic osteomyelitis, ☐ 結核性骨髄炎 tuberculous osteomyelitis, ☐ 骨折 bone fracture (仮骨 callus), ☐ 骨梗塞 bone infarction (無血管性壊死 avascular necrosis, 無腐性壊死 aseptic necrosis), ☐ 骨粗鬆症 osteoporosis, ☐ 骨軟化症 osteomalacia, ☐ 骨パジェット病 Paget's disease of the bone, ☐ 骨軟骨腫 osteochondroma (骨軟骨性外骨腫 osteochondrogenous exostosis), ☐ 内軟骨腫 enchondroma, ☐ 軟骨粘液線維腫 chondromyxoid fibroma, ☐ 軟骨芽細胞腫 chondroblastoma, ☐ 軟骨肉腫 chondrosarcoma, ☐ 類骨骨腫 osteoid osteoma, ☐ 骨芽細胞腫 osteoblastoma, ☐ 通常型骨肉腫 conventional osteosarcoma, ☐ 傍骨性骨肉腫 parosteal osteosarcoma, ☐ 骨巨細胞腫 giant cell tumor of bone, ☐ ユーイング肉腫 Ewing's sarcoma, ☐ 脊索腫 chordoma, ☐ 骨未分化多形肉腫 undifferentiated pleomorphic sarcoma of bone (昔の骨 MFH, ☐ 骨血管腫, ☐ 骨血管肉腫 angiosarcoma of bone, ☐ 孤立性骨嚢胞 solitary bone cyst, ☐ 動脈瘤性骨嚢胞 aneurysmal bone cyst, ☐ 線維性異形成 fibrous dysplasia, ☐ 褐色腫 brown tumor, ☐ ランゲルハンス細胞組織球症 Langerhans cell histiocytosis, ☐ 多発性骨髄腫 multiple myeloma, ☐ 骨転移性癌腫 metastatic cancer

☐ (2) 関節

☐ 慢性関節リウマチ rheumatoid arthritis, ☐ 化膿性関節炎 suppurative arthritis,

☐結核性関節炎 tuberculous arthritis, ☐痛風性関節炎 gouty arthritis, ☐偽痛風 pseudogout, ☐色素性絨毛結節性滑膜炎 pigmented villonodular synovitis, ☐腱滑膜炎 tendosynovitis (tenosynovitis), ☐結節性腱滑膜炎 nodular tendosynovitis (tenosynovitis), (腱鞘巨細胞腫 giant cell tumor of tendon sheath), ☐ガングリオン ganglion, ☐ベーカー嚢胞 Baker's cyst, ☐ピロリン酸カルシウム結晶沈着症 calcium pyrophosphate dehydrate (CPPD) crystal deposition disease, ☐関節遊離体 loose body, ☐滑膜(骨)軟骨腫症 synovial (osteo)chondromatosis

☐ (3) 軟部

☐異物肉芽腫 foreign body granuloma, ☐血管腫 hemangioma, ☐線維腫症 fibromatosis (palmar, plantar, desmoid type), ☐脂肪腫 lipoma, ☐褐色脂肪腫 hibernoma, ☐神経鞘腫 schwannoma, ☐神経線維腫 neurofibroma, ☐神経線維腫症 neurofibromatosis, ☐平滑筋腫 leiomyoma, ☐線維性組織球腫 fibrous histiocytoma, ☐隆起性皮膚線維肉腫 dermatofibrosarcoma protuberans, ☐グロームス腫瘍 glomus tumor, ☐リンパ管腫 lymphangioma, ☐孤在性線維性腫瘍 solitary fibrous tumor, ☐結節性筋膜炎 nodular fasciitis, ☐増殖性筋炎 proliferative myositis, ☐骨化性筋炎 myositis ossificans, ☐弾性線維腫 elastofibroma, ☐脂肪肉腫 liposarcoma (各種サブタイプと相互の関連性について説明できる/ well, dedifferentiated, myxoid/round cell, pleomorphic), ☐横紋筋肉腫 rhabdomyosarcoma (胎児型と胞巣型の区別も含む), ☐平滑筋肉腫 leiomyosarcoma, ☐滑膜肉腫 synovial sarcoma, ☐血管肉腫 angiosarcoma, ☐胞巣状軟部肉腫 alveolar soft part sarcoma, ☐類上皮肉腫 epithelioid sarcoma, ☐骨外性ユーイング肉腫 extraskelatal Ewing's sarcoma, ☐骨外性粘液型軟骨肉腫 extraskelatal myxoid chondrosarcoma, ☐淡明細胞肉腫 clear cell sarcoma, ☐悪性末梢神経鞘腫瘍 malignant peripheral nerve sheath tumor

☐ (4) 骨格筋

☐神経原性筋萎縮 neurogenic muscular atrophy, ☐進行性筋ジストロフィー progressive muscular dystrophy, ☐多発性筋炎 polymyositis, ☐好酸球性筋炎 eosinophilic myositis

N. 皮膚

☐ (1) 臨床皮膚科学で用いられる下記の用語の説明ができる。

☐原発疹 (☐紅斑 erythema, ☐紫斑 purpura, ☐色素斑 pigmented macule, ☐白斑 leukoderma, ☐丘疹 papule, ☐結節 nodule, ☐腫瘤 tumor, ☐水疱 blister, ☐膿疱 pustule, ☐嚢腫 cyst, ☐膨疹 wheal), ☐続発疹 (☐表皮剥離 excoriation, ☐びらん erosion, ☐潰瘍 ulcer, ☐瘢痕 scar, ☐亀裂 fissure, ☐鱗屑 scale, ☐痂皮 crust), ☐局面 plaque, ☐苔癬 lichen, ☐苔癬化 lichenification, ☐網状皮斑 livedo, ☐紅皮症 erythroderma, ☐魚鱗癬 ichthyosis, ☐痤瘡 acne, ☐秕糠疹 pityriasis

☐ (2) 皮膚病理学で用いられる下記の用語が説明できる。

☐角質増生(過角化) hyperkeratosis, ☐表皮肥厚 acantosis, ☐不全角化(錯角化) parakeratosis, ☐異角化 dyskeratosis, ☐棘融解 acantholysis, ☐海綿状態 spongiosis, ☐水疱(表皮内, 表皮下) blister, bulla, ☐膿疱 pustule, 表皮内細胞侵入 exocytosis), ☐液状変性 liquefaction degeneration), ☐シバット体 Civatte body, ☐ムチノーシス mucinosis

☐ (3) 下記の疾患の組織診断ができる。

☐接触性皮膚炎 contact dermatitis, ☐多形紅斑 erythema multiforme, ☐結節性紅斑 erythema nodosum, ☐硬結性紅斑 erythema induratum, ☐スweets病 Sweet's disease, ☐アナフィラクトイド紫斑 anaphylactoid purpura (☐白血球破砕性血管炎 leukocytoclastic vasculitis), ☐全身性エリテマトーデス systemic lupus erythematosus, ☐慢性円板状エリテマトーデス chronic discoid lupus erythematosus, ☐皮膚筋炎 dermatomyositis, ☐強皮性 scleroderma, ☐慢性単純性苔癬(ヴィダール苔癬) lichen simplex chronicus, ☐扁平苔癬 lichen planus, ☐移植片対宿主病 graft-versus-host disease (GVHD), ☐尋常性天疱瘡 pemphigus vulgaris, ☐水疱性類天疱瘡 bullous pemphigoid, ☐薬疹 drug eruption, ☐尋常

性座瘡 acne vulgaris, ☐皮膚アミロイドーシス cutaneous amyloidosis (☐アミロイド苔癬 lichen amyloidosis, ☐斑状アミロイドーシス macular amyloidosis), ☐弾力線維性仮性黄色腫 pseudoxanthoma elasticum, ☐環状肉芽腫 granuloma annulare, ☐サルコイドーシス sarcoidosis, ☐リポイド類壊死症 (類脂肪壊死症) necrobiosis lipoidica, ☐尋常性乾癬 psoriasis vulgaris, ☐膿疱性乾癬 pustular psoriasis, ☐硬化性萎縮性苔癬 lichen sclerosus et atrophicus, ☐リウマチ様結節 rheumatoid nodule, ☐結節性多発動脈炎 polyarteritis nodosa, ☐血栓性静脈炎 thrombophlebitis

☐ (4) 感染症

☐癰(せつ) furuncle, 癰(よう) carbuncle, ☐壊死性筋膜炎 necrotizing fasciitis, ☐皮膚結核 tuberculosis cutis, ☐非結核性 (非定型) 抗酸菌症 nontuberculous (atypical) mycobacteriosis, ☐梅毒 syphilis, ☐単純疱疹 herpes simplex, ☐伝染性軟属腫 molluscum contagiosum, ☐尋常性疣贅 verruca vulgaris, ☐尖圭コンジローム condyloma accuminatum, ☐白癬 tinea (皮膚糸状菌 dermatophyte), ☐皮膚カンジダ症 cutaneous candidiasis, ☐クリプトコッカス症 cryptococcosis, ☐放線菌症 actinomycosis, ☐スポロトリコーシス sporotrichosis, ☐クロモミコーシス chromomycosis, ☐マダニ刺症 tick bite

☐ (5) 母斑

☐母斑細胞母斑 nevocellular nevus (= 色素細胞性母斑 melanocytic nevus), ☐青色母斑 blue nevus, ☐単純黒子 lentigo simplex, ☐スピッツ母斑 Spitz's nevus, ☐表皮母斑 epidermal nevus, ☐脂腺母斑 nevus sebaceus

☐ (6) ケラチノサイト系腫瘍

☐脂漏性角化症 seborrheic keratosis, ☐ケラトアcantoma keratoacanthoma, ☐日光角化症 actinic keratosis, ☐ボーエン病 Bowen disease, ☐扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐疣状癌 verrucous carcinoma, ☐基底細胞癌 basal cell carcinoma

☐ (7) 皮膚付属器腫瘍および嚢腫

☐汗嚢腫 hidrocystoma, ☐毛包上皮腫 trichoepithelioma, ☐毛芽腫 trichoblastoma, ☐毛包腫 trichofolliculoma, ☐毛母腫 pilomatricoma (☐石灰化上皮腫 calcifying epithelioma), ☐脂腺腺腫 sebaceous adenoma, ☐脂腺腫 sebaceoma, ☐脂腺癌 sebaceous carcinoma, ☐汗孔腫 poroma, ☐単純性汗腺棘細胞腫 hidrakanthoma simplex, ☐汗管腫 syringoma, ☐らせん腺腫 spiradenoma, ☐汗腺腫 hidradenoma (clear cell, nodular), ☐皮膚混合腫瘍 (軟骨様汗管腫) mixed tumor of the skin (chondroid syringoma), ☐乳頭状汗管嚢胞腺腫 syringocystadenoma papilliferum, ☐乳房外パジェット病 extramammary Paget disease, ☐表皮嚢腫 epidermal cyst, ☐外毛根鞘嚢腫 trichilemmal cyst, ☐多発性脂腺嚢腫 steatocystoma multiplex, ☐増殖性外毛根鞘性嚢腫 proliferating trichilemmal cyst

☐ (8) メラノサイト系腫瘍および間葉系腫瘍

☐悪性黒色腫 malignant melanoma, ☐肥厚性癬痕 hypertrophic scar, ☐ケロイド keloid, ☐黄色腫 xanthoma, ☐疣贅状黄色腫 verruciform xanthoma, ☐若年性黄色肉芽腫 juvenile xanthogranuloma, ☐脂肪腫 lipoma, ☐血管平滑筋腫 angioleiomyoma, ☐皮膚線維腫 dermatofibroma, ☐隆起性皮膚線維肉腫 dermatofibrosarcoma protuberans (DFSP), ☐ベドナー腫瘍 Bednar tumor, ☐血管腫 hemangioma, ☐血管肉腫 angiosarcoma, ☐リンパ管腫 lymphangioma, ☐神経線維腫 neurofibroma, ☐神経鞘腫 schwannoma, ☐化膿性肉芽腫 pyogenic granuloma, ☐グロムス腫瘍 glomus tumor, ☐カポジ肉腫 Kaposi's sarcoma, ☐ランゲルハンス細胞組織球症 Langerhans cell histiocytosis, ☐肥満細胞症 mastocytosis (☐色素性蕁麻疹 urticaria pigmentosa), ☐皮膚悪性リンパ腫 (☐菌状肉肉症 mycosis fungoides), ☐皮膚白血病 leukemia cutis, ☐メルケル細胞癌 Merkel cell carcinoma

O. 神経系

☐ (1) 先天異常

☐二分脊椎 spina bifida, ☐髄膜瘤 meningocele, ☐髄膜脊髄瘤 meningocele

- ☐ 無脳症 anencephaly, ☐ 水頭症 hydrocephalus
- ☐ (2) 脳血管障害
 - ☐ 脳梗塞 brain infarction, ☐ 脳内出血 intracerebral hemorrhage, ☐ クモ膜下出血 subarachnoid hemorrhage, ☐ 低酸素・虚血性脳損傷 hypoxic/ischemic brain injury,
 - ☐ 動脈瘤 aneurysm, ☐ 動静脈奇形 arteriovenous malformation, ☐ アミロイド血管症 amyloid angiopathy, ☐ 脳ヘルニア cerebral herniation
- ☐ (3) 頭部外傷
 - ☐ 硬膜外血腫 epidural hematoma, ☐ 硬膜下血腫 subdural hematoma
- ☐ (4) 感染性疾患
 - ☐ 脳炎 encephalitis, ☐ 脳症 encephalopathy, ☐ 脊髄炎 myelitis, ☐ 髄膜炎 meningitis,
 - ☐ ウイルス感染症 viral infection (単純ヘルペスウイルス herpes simplex virus, サイトメガロウイルス cytomegalovirus, ヒト免疫不全ウイルス human immunodeficiency virus, ポリオウイルス poliomyelitis virus), ☐ 細菌性髄膜炎 bacterial meningitis, ☐ 脳膿瘍 brain abscess, ☐ 真菌感染症 fungal infection (☐ クリプトコッカス症 cryptococcosis), ☐ トキソプラズマ症 toxoplasmosis, ☐ プリオン病 prion disease (☐ クロイツフェルト・ヤコブ病 Creutzfeldt-Jakob disease)
- ☐ (5) 脱髄性疾患
 - ☐ 多発性硬化症 multiple sclerosis, ☐ ギラン・バレー症候群 Guillain-Barré syndrome
- ☐ (6) 変性疾患
 - ☐ アルツハイマー病 Alzheimer's disease (神経原線維変化 neurofibrillary tangle, 老人斑 senile plaque, タウ蛋白 tau protein, β アミロイド β amyloid), ☐ パーキンソン病 Parkinson's disease (レビー小体 Lewy body, α シヌクレイン α -synuclein), ☐ 多系統萎縮症 multiple system atrophy
- ☐ (7) 運動ニューロン変性疾患
 - ☐ 筋萎縮性側索硬化症 amyotrophic lateral sclerosis (ブニナ小体 Bunina body, TDP-43)
- ☐ (8) 次の腫瘍性疾患について発生年令, 発生部位の特徴を述べ, 診断することができる.
 - ☐ 毛様細胞性星細胞腫 pilocytic astrocytoma, ☐ 多形黄色星細胞腫 pleomorphic xanthoastrocytoma, ☐ びまん性星細胞腫 diffuse astrocytoma, ☐ 退形成性星細胞腫 anaplastic astrocytoma, ☐ 膠芽腫 glioblastoma, ☐ 乏突起膠腫 oligodendroglioma, ☐ 上衣腫 ependymoma, ☐ 粘液乳頭状上衣腫 myxopapillary ependymoma, ☐ 脈絡叢乳頭腫 choroid plexus papilloma, ☐ 中枢性神経細胞腫 central neurocytoma, ☐ 胚芽異形成性神経上皮腫瘍 dysembryoplastic neuroepithelial tumor, ☐ 神経節細胞腫・神経節膠腫 gangliocytoma/ganglioglioma, ☐ 髄芽腫 medulloblastoma, ☐ 髄膜腫 meningioma (亜型), ☐ 血管芽腫 hemangioblastoma, ☐ 血管周皮腫・孤立性線維性腫瘍 hemangiopericytoma/solitary fibrous tumor, ☐ シュワン細胞腫 (神経鞘腫) schwannoma, ☐ 神経線維腫 neurofibroma, ☐ 胚腫 germinoma, ☐ 頭蓋咽頭腫 craniopharyngioma, ☐ 中枢神経系原発悪性リンパ腫 primary central nervous system lymphoma

P. 感覚器

- ☐ (1) 眼
 - ☐ 皮様嚢腫 dermoid cyst, ☐ 霰粒腫 chalazion, ☐ 麦粒腫 hordeolum, ☐ 翼状片 pterygium, ☐ 涙囊炎 dacryocystitis, ☐ 網膜芽細胞腫 retinoblastoma, ☐ 悪性黒色腫 malignant melanoma, ☐ 脂腺癌 sebaceous carcinoma, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma
- ☐ (2) 耳
 - ☐ 先天性耳前瘻孔 congenital preauricular fistula, ☐ 耳介結節性軟骨皮膚炎 chondrodermatitis nodularis helices, ☐ 再発性多発性軟骨炎 relapsing polychondritis, ☐ 耳垢腺腫 ceruminous adenoma, ☐ 耳垢腺癌 ceruminous adenocarcinoma, ☐ 中耳炎 otitis media, ☐ 真珠腫 cholesteatoma, ☐ 中耳腺腫 middle ear adenoma, ☐ 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma

Q. 男性生殖器

☐ (1) 前立腺

☐ 前立腺炎 prostatitis (☐ 肉芽腫性前立腺炎 granulomatous prostatitis), ☐ 結節性過形成 nodular hyperplasia, ☐ 腺症 adenosis, ☐ 前立腺上皮内腫瘍 prostatic intraepithelial neoplasia (PIN), ☐ 前立腺癌 prostatic carcinoma (Gleason 分類)

☐ (2) 精巣, 精巣上体

☐ 低形成 hypoplasia, ☐ 停留睾丸 cryptorchism, ☐ 萎縮と不妊, ☐ 化膿性精巣, ☐ 精巣上体炎 suppurative epididymoorchitis, ☐ 結核性精巣上体炎 tuberculous epididymitis, ☐ 肉芽腫性精巣炎 granulomatous orchitis, ☐ 精子肉芽腫 sperm granuloma

☐ 腫瘍

☐ 胎児性癌 embryonal carcinoma, ☐ 成熟および未成熟奇形腫 mature and immature teratoma, ☐ 絨毛癌 choriocarcinoma, ☐ 卵黄囊腫瘍 yolk sac tumor, ☐ 精細管内悪性胚細胞 intratubular malignant germ cells, ☐ 精上皮腫 (セミノーマ) seminoma, ☐ 精母細胞セミノーマ spermatocytic seminoma, ☐ ライディヒ細胞腫 Leydig cell tumor, ☐ セルトリ細胞腫 Sertoli cell tumor, ☐ 胚細胞腫瘍, 混合型 germ cell tumor, tumors of more than one histological type, ☐ 腺腫様腫瘍 adenomatoid tumor, ☐ 中皮腫 mesothelioma

☐ (3) 陰茎

☐ 梅毒 syphilis, ☐ 軟性下疳 soft chancre, ☐ 陰部ヘルペス genital herpes simplex virus infection, ☐ 尖圭コンジローマ condyloma acuminatum, ☐ ボーエン病 Bowen disease, ☐ 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma

R. 小児病理

☐ 早期産 preterm delivery, ☐ 過期産 post-term delivery, ☐ 分娩損傷 birth injury, ☐ 低出生体重児 low birth weight infant, ☐ ダウン症候群, その他の染色体異常 Down syndrome and other chromosome abnormalities, ☐ 低身長 short stature, ☐ 新生児貧血 neonatal anemia, ☐ 新生児溶血性疾患 hemolytic disease of the newborn, ☐ 食道閉鎖症 esophageal atresia, ☐ 気管食道瘻 tracheo-esophageal fistula, ☐ 肥厚性幽門狭窄症 hypertrophic pyloric stenosis, ☐ 腸回転異常症 intestinal malrotation, ☐ 胎便性腸閉塞症 meconium ileus, ☐ 腸重積症 intussusception, ☐ ヒルシュスプルング病 Hirschsprung disease, ☐ 胆道閉鎖症 biliary atresia, ☐ 先天性胆道拡張症 congenital dilatation of the bile ducts, ☐ 新生児肝炎 neonatal hepatitis, ☐ 胎便吸引症候群 meconium aspiration syndrome, ☐ 呼吸窮迫症候群 (肺硝子膜症) respiratory distress syndrome (hyaline membrane disease), ☐ 気管支肺異形成症 bronchopulmonary dysplasia, ☐ 先天性嚢胞状腺腫様形成異常 congenital cystic adenomatoid malformation, ☐ 小児期に好発する腫瘍

S. 細胞診

☐ (1) 総論

☐ 偽陰性 false negative, 偽陽性 false positive, サンプリングエラー sampling error, ☐ 剥離細胞診 exfoliative cytology, ☐ 穿刺吸引生検細胞診 fine needle aspiration biopsy cytology, ☐ 集団検診 group medical examination, ☐ 固定法 fixation method (湿固定 wet fixation, 乾燥固定 dry fixation), ☐ 染色法 staining (Papanicolaou 染色, Giemsa 染色), ☐ スクリーニング screening, ☐ 良性細胞 benign cell, 悪性細胞 malignant cell, 境界領域細胞 borderline cell について説明できる.

☐ (2) 婦人科

☐ ホルモンの影響 (性周期による細胞変化), ☐ 妊娠 pregnancy および流産 abortion, ☐ エクソダス exodus, ☐ 炎症 (クラミジア chlamydia, トリコモナス trichomonad, 真菌 fungus, clue cell), ☐ 変性および再生, ☐ 老人性陰炎 senile vaginitis, ☐ 日本母性保護産婦人科医会の分類 (日母分類) (Papanicolaou 分類) クラス I - V, ☐ ベセスダ方式 (The Bethesda system : TBS) (ベセスダ分類) (1) NILM, LSIL, HSIL, SCC, ベセスダ分類 (2) ASC-US, ASC-H, ベセスダ分

- 類 (3) NILM, AGC, AIS, adenocarcinoma), ☐ 頸部上皮内腫瘍 cervical intraepithelial neoplasia 1, 2, 3 (CIN1, 2, 3), 異形成 (dysplasia) ;軽度 (mild), 中等度 (moderate), 高度 (severe), 扁平上皮内癌 (CIS), 核異常 (dyskaryosis), ☐ 頸部腺癌 cervical adenocarcinoma, ☐ 内膜癌 endometrial cancer, ☐ 癌肉腫 carcinosarcoma, ☐ 内膜増殖症 endometrial hyperplasia, ☐ 放射線による細胞の変化 radiation-induced cellular change, ☐ 頸部扁平上皮癌 cervical squamous cell carcinoma
- ☐ (3) 呼吸器(喀痰細胞診 sputum cytology, 気管支鏡下擦過細胞診 bronchoscopic brushing cytology, 穿刺吸引生検細胞診 fine needle aspiration biopsy cytology)
☐ 扁平上皮化生細胞 squamous metaplastic cell, ☐ 異型化生細胞 atypical metaplastic cell, ☐ 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐ 腺癌 adenocarcinoma, ☐ 小細胞癌 small cell carcinoma, ☐ 大細胞癌 large cell carcinoma, ☐ 大細胞神経内分泌癌 large cell neuroendocrine carcinoma, ☐ アスベスト小体 asbestos body, ☐ 感染症 (カンジダ candida, アスペルギルス aspergillus, ニューモシスチス・イロベチイ pneumocystis jirovecii, サイトメガロウイルス cytomegalovirus など)
- ☐ (4) 消化器(胆管ドレナージ細胞診 biliary drainage cytology, 膵管細胞診 pancreatic duct cytology)
☐ ランブル鞭毛虫 giardia lamblia, ☐ 炎症性変化 inflammatory change (胆管・膵管上皮の反応性変化 reactive change of the biliary and pancreatic duct), ☐ 腺癌 adenocarcinoma
- ☐ (5) 泌尿器(泌尿 urination, カテーテル尿 catheter urine)
☐ 尿路上皮癌 urothelial carcinoma, ☐ 腺癌 adenocarcinoma, ☐ ウイルス感染細胞 virus-infected cell, ☐ 尿路上皮の反応性変化 reactive change of the urothelial epithelium
- ☐ (6) 乳腺(穿刺吸引生検細胞診 fine needle aspiration biopsy cytology, 乳頭分泌 nipple discharge)
☐ 線維腺腫 fibroadenoma, ☐ 良性乳管上皮増殖 benign ductal hyperplasia, ☐ アポクリン化生 apocrine metaplasia, ☐ 乳管癌 ductal carcinoma, ☐ 小葉癌 lobular carcinoma, ☐ 髄様癌 medullary carcinoma
- ☐ (7) 胸腹水
☐ 反応性中皮細胞 reactive mesothelial cell, ☐ 腺癌 adenocarcinoma, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐ 悪性中皮腫 malignant mesothelioma
- ☐ (8) 甲状腺
☐ 腺腫様甲状腺腫 adenomatous goiter, ☐ 核内細胞質封入体 intranuclear cytoplasmic inclusion と乳頭癌 papillary carcinoma, ☐ 橋本病 Hashimoto's disease, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐ 濾胞性腫瘍 follicular tumor, ☐ 髄様癌 medullary carcinoma, ☐ 未分化癌 undifferentiated carcinoma
- ☐ (9) 非上皮性腫瘍およびその他の腫瘍との鑑別
☐ (大細胞性) 悪性リンパ腫 (large-cell) malignant lymphoma と (小細胞性) 未分化癌 (small-cell) undifferentiated carcinoma, ☐ Hodgkin 細胞 Hodgkin cell, ☐ リードシュテルンベルク細胞 Reed-Sternberg 細胞, ☐ 悪性黒色腫 malignant melanoma, ☐ 横紋筋肉腫 rhabdomyosarcoma と扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐ 巨細胞癌 giant cell carcinoma, ☐ 胚細胞性腫瘍 germ cell tumor

T. 特殊技能

- ☐ (1) 免疫組織化学 immunohistochemistry
☐ 酵素抗体法 enzyme-labeled antibody method の原理を理解している, ☐ 直接法 direct method と間接法 indirect method, ☐ Avidin biotin peroxidase complex (ABC) method, ☐ Labeled streptavidin biotin (LSAB) method
☐ 抗原賦活化 antigen retrieving の主な方法を理解している,
☐ 腫瘍マーカー tumor marker の代表的なものを知っており病理診断に応用することができる.

第1段階の検索

リンパ腫 Lymphoma	上皮性腫瘍 Epithelial tumor	メラノーマ Melanoma	肉腫 Sarcoma
CD45 (LCA)	cytokeratin	S-100 protein	vimentin

胚細胞腫瘍 Germ cell tumor	神経内分泌腫瘍	神経系腫瘍
placental ALP	chromogranin A synaptophysin	GFAP (グリア細胞) neurofilament (神経細胞) S-100 protein (シュワン細胞, グリア細胞)

第2段階の検索

リンパ腫：

B 細胞性	T 細胞性	NK 細胞性	組織球/顆粒球性	形質細胞性
CD20 CD79a	CD3	CD56	lysozyme myeloperoxidase CD68 (KP-1, PGM1)	cIg (κ, λ) CD138

ホジキンリンパ腫 Hodgkin lymphoma：CD30 (Ber H2), CD15 (Leu M1)

未分化大細胞型リンパ腫 Anaplastic large cell lymphoma：CD30 (Ber H2)

濾胞性リンパ腫 Follicular lymphoma：CD10, 胚中心 germinal center における bcl-2 陽性※

マントル細胞リンパ腫 Mantle cell lymphoma：CD5, cyclin D1

小細胞性リンパ腫 Small cell lymphoma,：CD5, CD23

上皮性腫瘍：

	腺癌	中皮腫		移行上皮癌	前立腺癌
cytokeratin	+	+	prostatic specific antigen (PSA)	—	+
CEA	+	—	prostatic acid phosphatase (PAP)	—	+
vimentin	—	+	CEA	+	—
calretinin	—	+	低分子量ケラチン (CK7, CK20)	+	—
D2-40	—	+			
WT-1	—	+			

メラノーマ：

S-100 protein (+), HMB-45 (+), melan-A/MART-1 (+), cytokeratin (—),
microphthalmia-associated transcription factor (MITF) (+)

肉腫：

	desmin	myoglobin	平滑筋 アクチン	CD31	CD34	S-100	keratin
平滑筋性腫瘍	+	—	+	—	—	—	—
横紋筋性腫瘍	+	+	—	—	—	—	—
血管内皮性腫瘍	—	—	—	+	+	—	— (+)
末梢神経性腫瘍	—	—	—	—	—	+	—
滑膜肉腫 synovial carcma	—	—	—	—	—	—	+
類上皮肉腫 epithelioid sarcoma	—	—	—	—	+	—	+
筋線維芽細胞性腫瘍	— (+)	—	+	—	—	—	—

胚細胞腫瘍：

	PLAP	cytokeratin	AFP	β-HCG	CD30	c-kit
セミノーマ seminoma	+	—	—	—*	—	+
胎児性癌 embryonal carcinoma	+	+	—	—*	+	—
卵黄囊腫瘍 yolk sac tumor	+	+ (—)	+	—	—	—
絨毛癌 choriocarcinoma	+	+ (—)	—	+	—	—

*合胞体性巨細胞は陽性

神経系腫瘍：

	EMA	cytoker atin	S-100 protein	GFAP	synaptophysin	vimentin
グリオーマ glioma	—	+	+	+	—	+
髄膜腫 meningioma	+	±/—	±/—	—	—	+
未熟神経外胚葉性腫 瘍 PNET	—	—	±/—	±/—	+	±/—
中枢性神経細胞 腫 central neurocytoma	—	—	—	—	+	—
脈絡叢腫瘍 choroid plexus tumor	±/—	±/—	+	±/—	—	+
シュワン細胞 腫 schwannoma	±/—	—	+	±/—	—	+

その他

☐ 血管筋脂肪腫 angiomylipoma : HMB-45

☐ Placental site trophoblastic tumor (PSTT), ☐ 中間型栄養芽細胞 intermediate trophoblast : human placental lactogen (hPL)

☐ Ewing 肉腫 Ewing's sarcoma/神経芽細胞腫 neuroblastoma : MIC2 (CD99)

☐ (2) 電子顕微鏡

☐ 細胞の基本構造の知識を十分有し, 超微形態を判定できる, ☐ 細胞膜 cell membrane, 核 nucleus, 粗面小胞体 rough-surfaced endoplasmic reticulum, リボゾーム ribosome, 滑面小胞体 smooth-surfaced endoplasmic reticulum, ミトコンドリア mitochondria, 線毛 cilia, ☐ デスモゾーム desmosome, 細胞骨格 cytoskeleton, リソゾーム lysosome, ペロキシゾーム peroxisome, ☐ 腫

瘍その他の病変の典型的な電子顕微鏡所見についての知識があり、病理診断に応用できる、☐細胞膜：interdigitation, 各種細胞接着装置（デスモゾーム desmosome, 接着帯 zonula adherens (adhesion belt), ギャップジャンクション gap junction など）、線毛 cilia, ☐細胞質 cytoplasm：細胞骨格 cytoskeleton（中間径フィラメント intermediate filament, 微小管 microtubule）、ケラチン keratin, 平滑筋フィラメント smooth muscle filament, 横紋筋フィラメント striated muscle filament, 分泌顆粒 secretory granule, ☐ウイルス（human papillomavirus：HPV, ヘルペスウイルス herpesvirus）

☐ (3) 染色

下記の染色については染色の方法を理解し、染色結果を判読できる。

☐ Hematoxylin-Eosin (HE) 染色, ☐中性脂肪の染色, ☐Periodic acid-Schiff stain (PAS) 染色, ☐Alcian blue 染色, ☐Elastica-van Gieson 染色, ☐Masson trichrome または Azan 染色, ☐好銀線維のための鍍銀法, Periodic acid-methenamine-silver stain (PAM) 染色, ☐ベルリン青法, ☐Gram 染色, ☐抗酸菌染色, ☐神経系の特殊染色（☐Nissl 染色, ☐Luxol fast blue 染色, ☐Klüver-Barrera 染色, ☐Bodian 染色, ☐Gallyas-Braak 染色）, ☐アミロイドの証明法, ☐Grimelius 染色, ☐Masson-Fontana 染色, ☐B 型肝炎ウイルス HBs 抗原検出のためのオルセイン染色, ビクトリアブルー染色, ☐Papanicolaou 染色, ☐Giemsa 染色

☐ (4) 酵素組織化学

☐ 代表的な酵素組織化学の病理診断への応用を指示することができ、その染色結果を判読できる, ☐ペルオキシダーゼ, ☐非特異的エステラーゼ染色（ α -naphthyl butyrate esterase）, ☐特異的エステラーゼ染色（naphthol AS-D chloroacetate esterase）, ☐アルカリホスファターゼ, ☐酸ホスファターゼ, ☐ATPase

☐ (5) 分子病理

☐核酸の基礎知識を有している。

☐Polymerase chain reaction (PCR) 法, ノザンブロットティング, ウェスタンブロットティング, in situ ハイブリダイゼーション (ISH) の原理を理解している。

☐代表的手法によるウイルス（human papillomavirus：HPV, Epstein-Barr virus：EBV, サイトメガロウイルスなど）の同定, 遺伝子再構成, 融合遺伝子検索, 遺伝子変異など病理診断への応用を指示することができる。

4. 口腔病変

A. 先天異常

☐唇顎口蓋裂 cleft lip and palate, ☐小舌症 microglossia, ☐巨舌症 macroglossia, ☐Sturge-Weber 症候群 Sturge-Weber syndrome, ☐Fordyce 顆粒 Fordyce granules, ☐先天性表皮水疱症 epidermolysis bullosa hereditaria, ☐エナメル質形成不全症 amelogenesis imperfecta, ☐象牙質形成不全症 dentinogenesis imperfecta, ☐骨形成不全症 osteogenesis imperfecta, ☐鎖骨頭蓋異形成症 cleidocranial dysplasia, ☐Gardner 症候群 Gardner syndrome, ☐Papillon-Lefèvre 症候群 Papillon-Lefèvre syndrome, ☐Peutz-Jeghers 症候群 Peutz-Jeghers syndrome, ☐von Recklinghausen 病 von Recklinghausen disease, ☐基底細胞母斑症候群 basal cell nevus syndrome

B. 粘膜病変

☐色素沈着症 pigmentosis, ☐アミロイド症 amyloidosis, ☐壊死性潰瘍性口内炎 necrotizing ulcerative stomatitis, ☐地図舌 geographic tongue, ☐正中菱形舌炎 median rhomboid glossitis, ☐再発性アフタ性口内炎 recurrent aphthous stomatitis, ☐ベーチェット病 Behçet's disease, ☐結核症 tuberculosis, ☐梅毒 syphilis, ☐カンジダ症 candidiasis, ☐放線菌症 actinomycosis, ☐クリプトコッカス症 cryptococcosis, ☐口唇ヘルペス herpes labialis, ☐帯状疱疹 herpes zoster, ☐ヘルプアングリーナ herpangina, ☐手足口病 hand-foot-and-mouth disease, ☐伝染性

軟属腫 molluscum contagiosum, ☐麻疹 measles, ☐風疹 rubella, ☐Wegener 肉芽腫症 Wegener's granulomatosis, ☐肉芽腫性口唇炎 granulomatous cheilitis, ☐サルコイドーシス sarcoidosis, ☐天疱瘡 pemphigus, ☐水疱性類天疱瘡 bullous pemphigoid, ☐粘膜類天疱瘡 mucous membrane pemphigoid, ☐多形性紅斑 erythema multiforme, ☐扁平苔癬 lichen planus, ☐色素性乾皮症 xeroderma pigmentosum, ☐萌出嚢胞 eruption cyst, ☐歯肉嚢胞 gingival cyst

C. 歯・顎骨・顎関節病変

☐齲蝕 dental caries, ☐歯周炎 periodontitis, ☐骨折 bone fracture, ☐急性骨髓炎 acute osteomyelitis, ☐慢性骨髓炎 chronic osteomyelitis, ☐歯性上顎洞炎 odontogenic maxillary sinusitis, ☐歯根嚢胞 radicular cyst, ☐歯根肉芽腫 radicular granuloma, ☐残存嚢胞 residual cyst, ☐歯周嚢胞 periodontal cyst, ☐原始性嚢胞 primordial cyst, ☐含歯性嚢胞 dentigerous cyst, ☐鼻口蓋管嚢胞 nasopalatine duct cyst, ☐鼻歯槽嚢胞 nasoalveolar cyst, ☐術後性上顎嚢胞 postoperative maxillary cyst, ☐単純性骨嚢胞 simple bone cyst, ☐脈瘤性骨嚢胞 aneurysmal bone cyst, ☐骨形成線維腫 ossifying fibroma, ☐線維性骨異形成症 fibrous dysplasia, ☐中心性巨細胞病変 central giant cell lesion, ☐ケルビズム cherubism, ☐乳児の黒色性神経外胚葉性腫瘍 melanotic neuroectodermal tumor of infancy, ☐セメント質骨性異形成症 cemento-osseous dysplasia, ☐Langerhans 細胞組織球症 Langerhans cell histiocytosis, ☐関節リウマチ rheumatoid arthritis, ☐顎関節症 temporomandibular disorder, ☐変形性関節症 arthrosis deformans, ☐色素性絨毛結節性滑膜炎 pigmented villonodular synovitis, ☐滑膜(骨)軟骨腫症 synovial chondromatosis, ☐骨腫 osteoma, ☐口蓋隆起/下顎隆起 torus palatinus / torus mandibularis, ☐類骨骨腫 / 骨芽細胞腫 osteoid osteoma / osteoblastoma, ☐軟骨腫 chondroma, ☐骨巨細胞腫 giant cell tumor of bone, ☐骨肉腫 osteosarcoma, ☐軟骨肉腫 chondrosarcoma, ☐Ewing 肉腫 Ewing sarcoma, ☐悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐骨髄腫(形質細胞腫) myeloma(plasmacytoma), ☐滑膜肉腫 synovial sarcoma, ☐転移性骨腫瘍 metastatic bone tumors

D. 唾液腺病変

☐唾液腺症 sialadenosis, ☐オンコサイトーシス oncocytosis, ☐壊死性唾液腺化生 necrotizing sialometaplasia, ☐唾石症 sialolithiasis, ☐粘液嚢胞 mucous cyst, ☐唾液腺炎 sialadenitis, ☐慢性硬化性唾液腺炎 chronic sclerosing sialadenitis, ☐流行性耳下腺炎 mumps, ☐巨細胞封入体症 cytomegalic inclusion disease, ☐シェーグレン症候群 Sjögren syndrome, ☐ミクリッツ病 Mikulicz disease, ☐多形腺腫 pleomorphic adenoma, ☐筋上皮腫 myoepithelioma, ☐基底細胞腺腫 basal cell adenoma, ☐ワルチン腫瘍 Warthin tumor, ☐オンコサイトーマ oncocytoma, ☐細管状腺腫 canalicular adenoma, ☐脂腺腺腫 sebaceous adenoma, ☐リンパ腺腫 lymphadenoma, ☐導管乳頭腫 ductal papilloma, ☐嚢胞腺腫 cystadenoma, ☐唾液腺芽腫 sialoblastoma, ☐腺房細胞癌 acinic cell carcinoma, ☐粘表皮癌 mucoepidermoid carcinoma, ☐腺様嚢胞癌 adenoid cystic carcinoma, ☐多型低悪性度腺癌 polymorphous low-grade adenocarcinoma, ☐上皮筋上皮癌 epithelial-myoepithelial carcinoma, ☐明細胞癌 NOS clear cell carcinoma, not otherwise specified, ☐基底細胞腺癌 basal cell adenocarcinoma, ☐脂腺癌 sebaceous carcinoma, ☐嚢胞腺癌 cystadenocarcinoma, ☐粘液腺癌 mucinous adenocarcinoma, ☐オンコサイト癌 oncocytic carcinoma, ☐唾液腺導管癌 salivary duct carcinoma, ☐腺癌非特異型 adenocarcinoma, not otherwise specified, ☐筋上皮癌 myoepithelial carcinoma, ☐多形腺腫由来癌 carcinoma ex pleomorphic adenoma, ☐癌肉腫 carcinosarcoma, ☐転移性多形腺腫 metastasizing pleomorphic adenoma, ☐扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐小細胞癌 small cell carcinoma, ☐大細胞癌 large cell carcinoma, ☐リンパ上皮癌 lymphoepithelial carcinoma, ☐脱分化癌 dedifferentiated carcinoma, ☐悪性リンパ腫 malignant lymphoma

E. 歯原性腫瘍

☐エナメル上皮腫, 充実型/多嚢胞型 ameloblastoma, solid / multicystic type, ☐エナメル上皮腫, 骨外型/周辺型 ameloblastoma, extraosseous / peripheral type, ☐エナメル上皮腫, 類腱型 ameloblastoma, desmoplastic type, ☐エナメル上皮腫, 単嚢胞型 ameloblastoma, unicystic type, ☐扁平歯原性腫瘍 squamous odontogenic tumor, ☐石灰化上皮性歯原性腫瘍 calcifying epithelial odontogenic tumor, ☐腺腫様歯原性腫瘍 adenomatoid odontogenic tumor, ☐角化嚢胞性歯原性腫瘍 keratocystic odontogenic tumor, ☐エナメル上皮線維腫 ameloblastic fibroma,

□エナメル上皮線維象牙質腫 ameloblastic fibrodentinoma, □エナメル上皮線維歯牙腫 ameloblastic fibro-odontoma, □歯牙腫, 複雑型 odontoma, complex type, □歯牙腫, 集合型 odontoma, compound type, □歯牙エナメル上皮腫 odontoameloblastoma, □石灰化嚢胞性歯原性腫瘍 calcifying cystic odontogenic tumor, □象牙質形成性幻影細胞腫 dentinogenic ghost cell tumor, □歯原性線維腫 odontogenic fibroma, □歯原性粘液腫 / 歯原性粘液線維腫 odontogenic myxoma / myxofibroma, □セメント芽細胞腫 cementoblastoma, □原発性骨内扁平上皮癌－充実型 primary intraosseous squamous cell carcinoma-solid type, □角化嚢胞性歯原性腫瘍に由来する原発性骨内扁平上皮癌 primary intraosseous squamous cell carcinoma derived from keratocystic odontogenic tumor, □歯原性嚢胞に由来する原発性骨内扁平上皮癌 primary intraosseous squamous cell carcinoma derived from odontogenic cysts, □明細胞性歯原性癌 clear cell odontogenic carcinoma, □幻影細胞性歯原性癌 ghost cell odontogenic carcinoma, □エナメル上皮線維肉腫 ameloblastic fibrosarcoma, □エナメル上皮線維象牙質肉腫 ameloblastic fibrodentinosa, □エナメル上皮線維歯牙肉腫 ameloblastic fibro-odontosarcoma

F. 非歯原性腫瘍および腫瘍様病変

□乳頭腫 papilloma, □乳頭状過形成 papillary hyperplasia, □エプーリス epulis, □疣贅型黄色腫 verruciform xanthoma, □異物肉芽腫 foreign body granuloma, □角化棘細胞腫 keratoacanthoma, □線維腫 fibroma, □線維腫症 fibromatosis, □侵襲性線維腫症 aggressive fibromatosis, □結節性筋膜炎 nodular fasciitis, □脂肪腫 lipoma, □血管腫 hemangioma, □血管外皮腫 hemangiopericytoma, □グロムス腫瘍 glomus tumor, □リンパ管腫 lymphangioma, □平滑筋腫 leiomyoma, □横紋筋腫 rhabdomyoma, □顆粒細胞腫 granular cell tumor, □神経鞘 Schwannoma, □神経線維腫 neurofibroma, □神経線維腫症 neurofibromatosis, □色素性母斑 pigmented nevus, □白板症 leukoplakia, □紅板症 erythroplakia, □粘膜下線維症 submucosal fibrosis, □口腔上皮性異形成 / 口腔上皮内腫瘍 oral epithelial dysplasia / oral intraepithelial neoplasia, □扁平上皮内癌 squamous cell carcinoma in situ, □扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, □疣贅性癌 verrucous carcinoma, □乳頭状扁平上皮癌 papillary squamous cell carcinoma, □腺様扁平上皮癌 adenoid squamous cell carcinoma, □腺扁平上皮癌 adenosquamous carcinoma, □類基底扁平上皮癌 basaloid squamous cell carcinoma, □紡錘細胞癌 spindle cell carcinoma, □未分化癌 undifferentiated carcinoma, □基底細胞癌 basal cell carcinoma, □線維肉腫 fibrosarcoma, □悪性線維性組織球腫 malignant fibrous histiocytoma, □脂肪肉腫 liposarcoma, □平滑筋肉腫 leiomyosarcoma, □横紋筋肉腫 rhabdomyosarcoma, 血管肉腫 angiosarcoma, □悪性顆粒細胞腫瘍 malignant granular cell tumor, □胞巣状軟部肉腫 alveolar soft-part sarcoma, □悪性末梢神経鞘腫瘍 malignant peripheral nerve sheath tumor, □白血病 leukemia, □悪性リンパ腫 malignant lymphoma, □髄外性形質細胞腫 extramedullary plasmacytoma, □悪性黒色腫 malignant melanoma, □転移性腫瘍 metastatic tumors, □孤立性線維性腫瘍 solitary fibrous tumor, □炎症性筋線維芽細胞性腫瘍 inflammatory myofibroblastic tumor

G. 隣接頭頸部病変

- (1) 鼻腔・副鼻腔, 咽頭, 喉頭: □鼻茸 nasal polyp, □鼻炎 rhinitis, □副鼻腔炎 sinusitis, □喉頭結節 laryngeal nodule, □アスペルギルス症 aspergillosis, □扁桃炎 tonsillitis, □扁桃肥大, □Wegener 肉芽腫症 Wegener's granulomatosis, □乳頭腫 papilloma, □内反性乳頭腫 inverted papilloma, □若年性血管線維腫 juvenile angiofibroma, □鼻腔副鼻腔癌 sinonasal carcinoma, □上咽頭癌 nasopharyngeal carcinoma, □中咽頭癌 oropharyngeal carcinoma, □下咽頭癌 hypopharyngeal carcinoma, □悪性リンパ腫 malignant lymphoma, □髄膜腫 meningioma, □嗅神経芽腫 olfactory neuroblastoma, □小細胞癌 small cell carcinoma, □悪性黒色腫 malignant melanoma, □頭蓋咽頭腫 craniopharyngioma, □脊索腫 chordoma,
- (2) リンパ節: □悪性リンパ腫 malignant lymphoma, □濾胞性過形成 follicular hyperplasia, □伝染性単核症 infectious mononucleosis, □組織球性壊死性リンパ節炎 histiocytic necrotizing lymphadenitis, □木村病 Kimura's disease, □サルコイドーシス sarcoidosis, □結核性リンパ節炎 tuberculosis lymphadenitis, □Castleman 病 Castleman's disease, □類皮嚢胞 dermoid cyst, □類表皮嚢胞 epidermoid cyst, □甲状舌管嚢胞 thyroglossal duct cyst, □リンパ上皮性嚢胞 lymphoepithelial cyst, □頸部胸腺嚢胞 cervical thymic cyst, □頸部嚢状ヒグ

- ローマ cystic hygroma colli, ☐ 頸動脈小体傍神経節腫 carotid body paraganglioma
- (3) 甲状腺, 副甲状腺: ☐ 橋本病 Hashimoto's disease, ☐ 腺腫様甲状腺腫 adenomatous goiter, ☐ 濾胞腺腫 follicular adenoma, ☐ 乳頭癌 papillary carcinoma, ☐ 濾胞癌 follicular carcinoma, ☐ 髄様癌 medullary carcinoma, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐ 副甲状腺腫 parathyroid adenoma, ☐ 硝子化索状腫瘍 hyalinizing trabecular tumor
- (4) 眼器, 耳: ☐ 霰粒腫 chalazion, ☐ 眼瞼黄色腫 xanthelasma, ☐ 悪性黒色腫 malignant melanoma, ☐ 網膜芽細胞腫 retinoblastoma, ☐ 皮脂腺癌 sebaceous gland carcinoma, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐ 日光角化症 solar keratosis, ☐ 真珠腫 cholesteatoma, ☐ 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐ 基底細胞癌 basal cell carcinoma, ☐ 髄膜腫 meningioma, ☐ 神経鞘腫 schwannoma

H. 細胞診

- (1) 口腔粘膜病変
☐ カンジダ症 candidiasis, ☐ 放線菌症 actinomycosis, ☐ 単純疱疹 herpes simplex, ☐ 尋常性天疱瘡 pemphigus vulgaris, ☐ 異形成病変 epithelial dysplasia, ☐ 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐ 悪性黒色腫 malignant melanoma, ☐ 転移性癌 metastatic cancer
- (2) 嚢胞状病変
☐ 角化嚢胞性歯原性腫瘍 keratocystic odontogenic tumor, ☐ エナメル上皮腫 ameloblastoma
- (3) 唾液腺病変
☐ 多形腺腫 pleomorphic adenoma, ☐ ワルチン腫瘍 Warthin tumor, ☐ 腺房細胞癌 acinic cell carcinoma, ☐ 粘表皮癌 mucoepidermoid carcinoma, ☐ 腺様嚢胞癌 adenoid cystic carcinoma, ☐ 多形腺腫由来癌 carcinoma ex pleomorphic adenoma, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma
- (4) リンパ節病変
☐ 結核性リンパ節炎 tuberculosis lymphadenitis, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma
- (5) 甲状腺
☐ 乳頭癌 papillary carcinoma, ☐ 濾胞性腫瘍 follicular tumor, ☐ 髄様癌 medullary carcinoma, ☐ 未分化癌 undifferentiated carcinoma, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐ 橋本氏病 Hashimoto's disease, ☐ 腺腫様甲状腺腫 adenomatous goiter